記載年月
 平成29年9月

 対象年度
 平成28年度

# 1 事務事業の概要

1 事務事業の	概														
事務事業名	基地対策	事業									事の利コ	务 —	業 ド	6086010	00
概要	市内基地跡地	対策に係	る事業全般	ζ									•		
<b>基本施策</b>	1 施策体	 系外					主管	曾部課名	政策約	総務部	政策	課			
総合施策	86 施策体	系外					事	業類型	任意	事業					
事業種別	その他の事務	事業	事業開始	始年度	~		見直	しの裁量	市に	事業見	直しの	裁量を	っり		
根拠法令等					•	•									
市関連事業															
対 象	府中基地跡地	留保地、	調布基地跡	地関連、	航空自衛隊府	牙中基地は	こ関する	事項等全般							
実施の背景	戦前、市内 等として米軍	に存在し が使用し	た陸軍燃料 ていたが、	廠及び調  その後大	布飛行場の一 部分が返還さ	一部が、終れたこと	冬戦後間 こから、	もなく米軍 跡地利用計	に接収さ 画の策定	れ、そ に取り	たれぞ ) 組ん	れ米軍 できた	府中基 。	地及び関連	東村
事業目標	市内に所在	する基地	跡地が、市	i民の福祉	向上と地域経	経済発展に	こ寄与す	るものとな	るよう利	用計画	画の実	現を図	る。		
事業内容	進める。	跡地対策  協議会・	特別委員会	:への報告	布基地跡地に 、広報ふちゅ 国協議会研修	ゅうによる	る情報提	供、各種説	明会の実	を施に」	こり、	市民へ	の周矢	ロを図るとる	とも
2 事業計画・	評価														
H27年度実績(								(Check)				現状の			
▽府中基地跡地 関と協議。庁内検 ▽調布基地跡地 回及び間を マその他:基地跡 マその他:基地跡	食討プロジェク   『市整備用地: { 〕 条例に基づく』	トチームを 8月に開卵 助言に沿う	を中心に、注 発事業者と見 う形で売買	活用基本力 財務省の間 契約が締約	5針を策定。 引で、利用計 吉。	の利用 調布	計画策算 基地跡	地留保地に~ 定に向けた> 地について <i>i</i> 整備用地のフ	スケジュ は、市と	ールを 近隣住	明確は民の意	こするこ	ことが	できた。	
	┏	Λ" II ¬¬¬¬-													
	利烷"	<i>ハ</i> ハルアツ.	プ <u> </u>	継続	□ 見ī	<u>直</u> し	<u></u> 廃	止	H27年度	評価(	こ基で	づく見	直し	(Action)	
H28年度の具体	的な取組(PI	an)				H28年	ー 度の方	向性(Plan	n)						
<ul><li>▽ 府中基地跡地段</li><li>ェクトチームにおずはH28年度に利力</li><li>▽ 調布基地跡地積</li></ul>	がな取組(PI 留保地:引き続 いても協議を込 用計画の素案を 都市整備用地及	an) き関係機 進め、早期 作成する び下水道	   関と協議を   期の利用計詞	:行うとと 画の見直し	<b>し</b> もにプロジ しを図る。ま	<b>H28年</b> 府中き続き すていく	<b>度の方</b> 基地跡: 関係機  める。	<b>向性 (Pla</b> i 地留保地につ 関と協議等で また、庁内の	n) ついては を進める の検討プ	、利用 ととも ロジェ	計画の に、	の変更 周辺のi チーム!	・見直 道路計 こおい	しに向けて 画について ても協議を	て、引 ても検 を進め
▽ 府中基地跡地間 ェクトチームにお ずはH28年度に利り	的な取組(PI 留保地:引き続 さいても協議を並 用計画の素案を 都市整備用地及 動向を注視してい	an) 記き関係機 進め、早期 作成する び下水道 いく。	関と協議を 朝の利用計 。 処理場西側	:行うとと 画の見直し 川用地:そ	もにプロジ しを図る。ま れぞれの整	<b>H28年</b> 府中き続を進 て 調土地	<b>度の方</b> 基地跡: 関係機 める。 基地跡: につい	<b>向性 (Plan</b> 地留保地に 関と協議等を また、庁内の 地についてに て、引き続き	n) ついては を進める の検討プ は、調布 き関係機	、利用 とロ 基地 関 との	計画のため、地では、地では、地では、地では、地では、地では、地では、地では、地では、地では	の変更 周辺の近 チーム ( 水道処理 を継続・	<ul><li>見記記</li><li>見路</li><li>理場</li><li>である</li></ul>	しに向けて 画について ても協議を 定地等、末	て、引 ても検 を進め
▽ 府中基地跡地 ェクトチームにお ずはH28年度に利り ▽ 調布基地跡地 備状況について動	的な取組(PI 留保地:引き続いても協議を対用計画の素案を 都市整備用地及 が向を注視してい 跡地等に係る諸	an) 記き関係機 進め、早期 作成する び下水道 いく。	関と協議を 朝の利用計 。 処理場西側	:行うとと 画の見直し 川用地:そ	もにプロジ しを図る。ま れぞれの整	<b>H28年</b> 府中き続を進 て 調土地	<b>度の方</b> 基地跡: 関係機 める。 基地跡: につい	<b>向性 (Plai</b> 地留保地に~ 関と協議等を また、庁内の 地についての	n) ついては を進める の検討プ は、調布 き関係機	、利用 とロ 基地 関 との	計画のため、地では、地では、地では、地では、地では、地では、地では、地では、地では、地では	の変更 周辺のi チーム l 水道処理	<ul><li>見記記</li><li>見路</li><li>理場</li><li>である</li></ul>	しに向けて 画について ても協議を 定地等、末	て、引 ても検 を進め
▽ 府中基地跡地4 ェクトチームにおずはH28年度に利り ▽ 調布基地跡地4 備状況について動 ▽ その他:基地	でいて取組(PI 留保地:引き続いても協議を対用計画の素案を 別の大きなでは、 用計画の構用しては がか地等に係る は (Do) 留保地:早期ののた。素案備用地のた。素と では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	an) き関係機 進め、早期 作成水水 が1、間 動利用計 したで下水 なるとともい	関と協議を開め、利用計画の利用計画の利用が、会議が対応、会議では、対応、会議では、関係を対して、関係では、関係者	:行うとと 画の見直し 川用地:そ 後等への出 に向け、関 チームを「 リ用地:そ	もにプロジンを図る。まれぞれの整席 (係機関と引 やいとした検れぞれの整を行った。	H28年         おおける         おおります         おおります         おおります         おおります         日28年         ・利用	度の方 度の方 地係る。 地のでは 地のでは 地のでは 地のでは 地のでは 地のでは 地のでは 地のでは 地のでは 地のでは 地のでは 地のでは 地のでは 地のでは 地のでは 地のでは 地のでは 地のでは がのでは 地のでは はので はので	<b>向性 (Plan</b> 地留保地に 関と協議等を また、庁内の 地についてに て、引き続き	n) ついてはる を進計 が表す は、調係機 でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる	、とロ 基関 <b>価</b> 、 ム 用もエ 跡の 用も 和を が	計にク 地協 A 計進す	の変更のより 関サ	・ 見路お 埋す ション をがき まま がき	しに向けていても協議を 定地等、未 と と は は た。	ててを 林解 より
▽ 府中基地跡地パックトチームにおずはH28年度に利パットが表地で、調布基地がで動で、表が、である。 日本	*的な取組(PI 留保地:引き続いても協議を利用計画の備用しても協議をを 都市整備視して、 が助向をに係る諸 (Do) 留保地:早期の できまをのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	an) き関係機 進め、早期 作成水水 が1、間題 が1、間間 が1、1 が1 が1、1 が1、1 が1、1 が1、1 が1、1 が1、1 が1、1 が1、1 が1、1 が1、1 が1 が1 が1 が1 が1 が1 が1 が1 が1 が	関と協議を関の利用計での見重したの見重したりが、会議である。  「の見でなった」では、関係会議である。	:行うとと 画の見直し 川用地: そ 後等への出 エ向け、を チーム と リ用地 : そ と 後等への出	もにプロジンを図る。まれぞれの整席 (係機関と引 やいとした検れぞれの整を行った。	H28年         き割ての続をい調土         H28年         FR対象をい調土         H28年         FR対調         3。	度の方 度の方 地係る。 地のでは 地のでは 地のでは 地のでは 地のでは 地のでは 地のでは 地のでは 地のでは 地のでは 地のでは 地のでは 地のでは 地のでは 地のでは 地のでは 地のでは 地のでは がのでは 地のでは はので はので	向性 (Plan 地関と協定 地関となっいて 関また、いてき はに、引き続き (Check) 地留保地については 地策については	n) ついてはるプロルではるプロルではるプロルではるプロルではるプロルではるプロルでは、	、とロ 基関 <b>価</b> 八本し 用もエ 跡の <b>内</b> 用推名	計にク 地協 <b>容</b> 計進課 画 「 下 液	の変更のが、水道統一現状の表を継続の素をといる。	・見路お 場る ま 作でめる	しに向けていても協議を 定地等、未 と と は は た。	て、も進 引検め 決 こ 要 で あ
▽ 府中基地跡地パックトチームにおずはH28年度に利パットが表地で、調布基地がで動で、表が、である。 日本	的な取組(PI 留保地:引き続いても協議を並用計画の構用しても協議をを 相計整備視して諸が向を注視係る諸 のの) 留保地:早期のの計画素楽備用地では のかが地等に係る諸 のの) 部は、また、策定に 都は、また、策定に 都は、また、策定に が、地等に係る。 が、地等に修った。 が、地等に修った。 が、地等に修った。 が、地等に修った。 が、地等に修った。 が、地等に修った。 が、地等に修った。 が、地等に修った。 が、地等に修った。 が、地等に修った。 が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、	an) さ関係機関係を関係を関係を表している。 の利用計プローンでといる がといる がといる がいた がいた で が ・ベルアップ	関と協議を関の利用計での見重したの見重したりが、会議である。  「の見でなった」では、関係会議である。	:行うとと 画の見直し 川用地: そ 後等への出 エ向け、を チーム と リ用地 : そ と 後等への出	もにプロジェンを図る。まれぞれの整席 機関と引申心とした検れでれの整度である。 これぞれの整体である。 これぞれの整を行った。 これぞれた。 これぞれた。 これぞれた。 これぞれた これぞれた これぞれた これであるた。 これである これできる これできんできる これできる	H28年 き討ての H28年 中き進く布地 H28年 中月利調。	度の方   基関め。基に   度   連   東   地係る   地の   地の   地面   地画地   地画地   原   産   産   産   産   産   産   産   産   産	向性 (Plan 地関と協定 地関を放っいて 関また、いてき はに、引き続き (Check) 地留保地については 地策については	n) ついてはるプロいてはるプロットを担対	、とロ 基関 <b>価</b> 八本し 用もエ 跡の <b>内</b> 用推名	計にク 地協 <b>容</b> 計進課 画 「 下 液	の変更のが、水道統一現状の表を継続の素をといる。	・見路お 場る ま 作でめる	しに向けてである。 にかいいでは協議を 定地等、末 継続 ですることに ですることに	て、も進 引検め 決 こ 要 で あ
▽ 府中基地跡地はエクトチームにおずはH28年度に利りマポスに他: 横状況に他: 基地・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・	*的な取組(PI 留保地: 的な取組(PI 留保地: 協議を対して は いて 画の 備視 に 協 素 を を を を を で で で で で で で で で で で で で で	an) き関係を集 生作びいく問題 の利検をいてといる かれいでも ののでする ののでで ののでで のので のので ののでで ののでで のので のので ののでで ののでで のので のので のので のので のので	関と協議を開め、別用計画の別用の別の別で、会議では、会議では、会議では、会議では、会議では、会議では、対応、会議では、対応、会議では、対応、会議では、対応、会議では、対応、会議では、対応、会議では、対応、会議では、対応、会議では、対応、会議では、対応、会議では、対応、対応、対応、対応、対応、対応、対応、対応、対応、対応、対応、対応、対応、	:行うとと 画の見直し 利用地: そ 美等へのは、 大をで が、ム・ 大の出 関連 が、ム・ でで でで ののので ののので ののので ののので ののので ののので ののので ののので ののので ののので のので ののので のので	もにプロジェ れぞれの整 席 場換しした。 を 所に の を 所に の を が た に 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	H28年   + 128年   + 128年	<b>度</b> 基関め。基に <b>度</b> 基計基	<b>向性 (Plan</b> 地関また いき で で で で で で で で で で で で で で で で で で	n) ついではるプ 布機 評 は一続 H28年度 n) つこここ	、とロ 基関 価、ムし 評 関用道 、利のの 角 用 4 年 ) 関 円 4 年 ) 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1	計にク 地協 & 計進課 ま 機況計	の 関チ 大を 現 素 大を 現 素 ま決 で の 用つ の 開わ の に 。 に 。 に の に の に に に に に に に に に に に に に	・ 道こ 里す ) ま をが努 <b>直</b>	し画て 定地等 は が と 必 必 が が が が が が が が が が が が が が が が	ててを 林 こ 要 やしに がんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん
▽ 府中基地跡地はまずは128年度の上では128年度では128年度では128年度では138年度では138年度では138年度では138年度では138年度では138年度では138年度では138年度では138年度では138年度では138年度の138年度	*的な取組(PI 留保地・は、   日子   日子   日子   日子   日子   日子   日子   日	an) (基本)	関と協議を開める利用を開かる。 処理場の利用の利用の利用の利用の利用の対応の見に対応の見に対応の対応、 図 2 機関計で、 会議を関する と は と は と は と は は と は は は は は は は は は	:行うとと 画の見直し 利用地: そ 美等へのは、 大をで が、ム・ 大の出 関連 が、ム・ でで でで ののので ののので ののので ののので ののので ののので ののので ののので ののので ののので のので ののので のので	もにプロジェ れぞれの整 席 場換しした。 を 所に の を 所に の を が た に 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	H28年   + 128年   + 128年	<b>度</b> 基関め。基に <b>度</b> 基計基	<b>向性 (Plan</b> 地関また いき で で で で で で で で で で で で で で で で で で	n) ついではるプ 布機 評 は一続 H28年度 n) つこここ	、とロ 基関 価、ムし 評 関用道 、利のの 角 用 4 年 ) 関 円 4 年 ) 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1	計にク 地協 & 計進課 ま 機況計	の 関チ 大を 現 素 大を 現 素 ま決 で の 用つ の 開わ の に 。 に 。 に の に の に に に に に に に に に に に に に	・ 道こ 里す ) ま をが努 <b>直</b>	し画て 定地等 は が と 必 必 が が が が が が が が が が が が が が が が	ててを 林 こ 要 やしに がんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん
▽ 府中基地跡地代 エクトチームに利り マクトチームに利り 一大は128年年地跡で 備状況の他:基地跡で 一大の他・基地跡で 一大の他・表に、 一大の他・表に、 一大のが、大の他・表に、 一大のが、大の他・表に、 一大のが、大の他・表に、 一大のが、大の他・表に、 一大のが、大のが、大のが、大のが、大のが、大のが、大のが、大のが、大のが、大のが、	## (PI を では	an) (基本)	関と協議を開める利用を開かる。 処理場の利用の利用の利用の利用の利用の対応の見に対応の見に対応の対応、 図 2 機関計で、 会議を関する と は と は と は と は は と は は は は は は は は は	:行うとと 画の見直し 利用地: そ 美等へのは、 大をで が、ム・ 大の出 関連 が、ム・ でで でで ののので ののので ののので ののので ののので ののので ののので ののので ののので ののので のので ののので のので	もにプロジェ れぞれの整 席 場換しした。 を 所に の を 所に の を が た に 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	H28年   + 128年   + 128年	<b>度</b> 基関め。基に <b>度</b> 基計基	<b>向性 (Plan</b> 地関また いき で で で で で で で で で で で で で で で で で で	n) つをか はき はるプ 布機 評 は一続	、とロ 基関 価 、ムし 評 、利のて 用もエ 跡の 内 用格名 価 係状路、	計にク 地協 R 計進課 こ 機況計継 基 関や利は	の関チ・水を、現のる解が、くり、の用のでは、水を、水を、は、水のの用のでは、水のの用のでは、水の、水の、水の、水の、水の、水の、水の、水の、水の、水の、水の、水の、水の、	<ul> <li>・ 道と 里す )ま をが努 直 養面で報 し</li></ul>	し画て 定 地 は すたこ (Action) 計更を及 (Action)	ててを 大も進 解 よ で プに 関 ロ係 と
▽ 府中基地跡地はまずは128年度の上では128年度では128年度では128年度では138年度では138年度では138年度では138年度では138年度では138年度では138年度では138年度では138年度では138年度では138年度の138年度	<b>的な取組(PI</b> 留い 日本	an)	関と協議を開める利用を開かる。 処理場の利用の利用の利用の利用の利用の対応の見に対応の見に対応の対応の対応の対応の対応の対応の対応の対応の対応を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を対して、対応に対し、対応に対しが、対応に対しが、対応に対し、対応に対し、対応に対し、対応に対し、対応に対しが、が、対応に対しが、対応に対しが、対応に対しが、対応に対しが、対応に対しが、が、対応に対しが、対応に対しが、対応に対しが、対応に対しが、対応に対しが、対	#行うとと直します。 # であると # であると # できます。 # できます。 # できます。 # できます。 # できます。 # できる # できます。 # できる # で	した で	H28年   + 128年   + 128年	<b>度</b> 基関め。基に <b>度</b> 基計基	<b>向性 (Plan</b> 地関また いき で で で で で で で で で で で で で で で で で で	n) つをり はき	、とロ 基関 価、ムし 評 、利のて い、や 用もェ 跡の 内 用格名 価 係状路、 は 対等	計にク 地協 A 計進課 ま	で 変辺一 道継 状 素こ決 の用って で の用って にた係機 は にた係機 にた係機	<ul> <li>・ 道こ 里す ) ま が努 直</li></ul>	し画て 定	ててを

1

2 他事業との整理・統合

1休止2廃止3完了

D 休止・廃止等

指標名	基準値			事業推移			目標值·	指標の分析
拍标石	(単位)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標年度	1日1宗(ノブ 初)
		計当初値画	1	1	1	1	1	数値の比較や推移で評価すること がなじまないため、特に指標の設
	-	値補正値	-	_	-	-	-	定は行わない。
	_	実 績	١	ı	ı	ı	ı	
		計 当初値画	-	-	-	-	-	
	=	値補正値	ı	1	ı	1	1	
	_	実績	_	_	- + +	_	_	tr (\(\frac{1}{2}\) \(\frac{1}{2}\) \(\frac{1}2\) \(\frac{1}{2}\) \(\frac{1}2\) \(\frac{1}2\)

※ 当初値:指標設定当初の計画値、補正値:現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現 状 分 析	3	2	1	
	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	3
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施するべき事業である。	基地対策については、「 関係機関と連携し、取り	市が主体的に実施すべき り組む必要がある。	であるが、国や都などの	
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類以事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

### 4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

+ =												
		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度					
(事業	<b>美費</b> )											
	当 初 予 算 額	43,000	43,000	43,000	42,000	5, 360, 000	0					
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0					
	都支出金	0	0	0	0	0	0					
	市債	0	0	0	0	0	0					
	その他	0	0	0	0	0	0					
	一般財源	43,000	43, 000	43, 000	42, 000	5, 360, 000	0					
	予算現額	43,000	43,000	43, 000	42,000	0	0					
	決 算 額	9, 344	9, 708	9, 810	15, 207	0	0					
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0					
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0					
	市債	0	0	0	0	0	0					
	その他	0	0	0	0	0	0					
	一般財源	9, 344	9, 708	9, 810	15, 207	0	0					
į	執 行 率	21.7%	22.6%	22. 8%	36. 2%	0.0%	0.0%					
(人作	<b>牛費</b> )											
	職員数	0.67	0.67	0.87	0.87							
	職員人件費	5, 355, 711	5, 082, 696	6, 792, 366	6, 793, 464							
	嘱託員数	0	0	0	0							
	嘱託員人件費	0	0	0	0							
(間接	接経費)											
	間接経費	33, 631	31, 571	44, 538	74, 545							
	総コスト	5, 398, 686	5, 123, 975	6, 846, 714	6, 883, 216	0	0					

### 5 これまでの取組及び今後の展開

### これまでの主な取組と成果

平成20年、基地跡地3地区の土地利用計画を策定。 調布基地跡地都市整備用地は、「業務・商業ゾーン」「住宅ゾーン」「沿道住宅ゾーン」とした。 府中基地跡地留保地は、「公園緑地ゾーン」、「研究施設ゾーン」及び「住宅ゾーン」とした。 平成23年には国家公務員宿舎の削減計画が財務省より公表され、宿舎建設が中止となった。そのため、平成24年に都市整備用地利用計画の一部を変更し、北側の「住宅ゾーン」を廃止し全体を「業務・商業ゾーン」へ、南側の「沿道住宅ゾーン」を「沿道ゾーン」へとそれぞれ見直した。 さらに、衛生研については、平成24年9月に、移転先が府中市から川崎市へ正式に変更となったため、改めて利用計画の策定が求められることとなった。 調布基地跡地都市整備用地については、平成27年1月、国による一般競争入札が行われ、開発事業者が確定し、同年8月、売買契約が締結された。

### 今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)

府中基地跡地留保地については、国家公務員宿舎建設、衛生研移転計画がともに中止となったことから、関係機関と協議を行い、利用計画の変更・見直しに向けた検討を進める必要がある。また、当該留保地については、周辺の道路計画についても検討し、米軍通信施設の返還が実現するまでの間における一部敷地の共同使用についても、取り組んでいく必要がある。庁内検討プロジェクトチームを中心に、平成28年3月に留保地活用基本方針の策定、平成29年3月に留保地活用基本計画(素案)の作成を行ったため、この方針をベースに利用計画の策定を進めていく。調布基地跡地については、下水道処理場予定地等、未解決の土地について、引き続き関係機関との協議を継続していく必要がある。

6 構成事業一覧

(単位:円)

		#木	石		事 業 コード	又當市豐夕	H284	年度	H29年度
	会計	款	項	目	コード	予算事業名 	当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	10	05	05	0020000	基地対策費	34, 000	7, 207	34, 000
2	01	10	05	05	0037000	負担金 全国基地協議会	1,000	1,000	1,000
3	01	10	05	05	0039000	負担金 防衛施設周辺整備全国協議会	7, 000	7, 000	7, 000
4	01	10	05	05	1065020	基地跡地留保地利用計画検討協議会(仮称)運営費			402, 000
5	01	10	05	05	1065030	府中基地跡地留保地利用計画策定費			4, 916, 000
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						合 計	42,000	15, 207	5, 360, 000

平成29年9月 対 象 年 度 平成28年度

1 事務事業の	<b>既</b> 要										
事務事業名	府中ふるさと客	· 於附金推進事	業費			事 務 コ -	事業 - ド <sup>60860150</sup>				
概要	「府中ふるさと寄附金	」を創設するととも	っに、寄附者が	申込時に寄附	目的を選べる』	<b>こうにする。</b>					
基本施策	1 施策体系外			Ė	E管部課名	政策総務部 政策課					
総合施策	86 施策体系外				事業類型	任意事業					
事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	平成28年度	~ 見	直しの裁量	市に事業見直しの裁	<b></b> 最量あり				
根拠法令等	府中市ふるさと寄附金	取扱要綱									
市関連事業											
対 象	寄附者										
実施の背景	他の自治体がふるさと する必要がある。	納税を促進すること	こにより、本市	の税収は年々	減少傾向にある	るため、ふるさと納税	を新たな財源として確保				
事業目標	ふるさと納税を新たな 上させることを目指す		るとともに、返	礼として特産	品等を贈呈する	ることによって本市の	PRを図り、認知度を向				
事業内容 【寄附制度の確立】 新たに「府中ふるさと寄附金」を創設するとともに、寄附者が申込時に寄附目的を選べるようにする。 【寄附に対する返礼品の贈呈】 1万円以上の寄附をいただいた方へ、本市の特産品等をお礼として贈呈する。											
2 事業計画・											
H27年度実績(I	Oo)			H27年度評	価 (Check)	評価内容					
<u> </u>	-   新規・レベルアッ	プ □ 継続	□ 見直	īl 🗌	廃止 H	27年度評価に基づ	く見直し(Action)				
H28年度の具体	的な取組(Plan)			H28年度の	方向性(Plan	)					
活用やクレジット 行う。 ・総合計画に沿っ 致する事業に充当	から簡単にふるさと納れカード決済の導入など、 た寄附目的の設定を行い できるようにする。 会等を実施し、魅力ある	ふるさと納税の活い、寄附者が選んだ	用及び整備を 寄附目的に合	カード決済 ・総合計画 を選べるよ	の導入など、寄 に沿った寄附目 うにする。	附者が寄附しやすい	附者が申込み時に寄附目的				
H28年度実績(I	Oo)			H28年度評	価 (Check)	評価内容					
9月より、1万 内特産品などのお 寄附の申し出を行	円以上のふるさと納税 :礼の品を贈呈する「府・・・う際、寄附金の使途を・・ らの申込みができるよ た。 10件	中ふるさと寄附金」 指定できるようにす	を開始した。	「府中ふ Rにつなげ できるよう	るさと寄附金」 ることができた にした。他の自	を創設し、返礼品を 。また、寄附者の意 治体のふるさと納税	贈呈することで、本市の1 向に応じ、寄附金を充当1 による影響を受けるなか、 も活用できるようになっ†				
$\bigcirc$	<ul><li>■ 新規・レベルアップ</li></ul>	プ ☑ 継続	□ 見直	īl 🗆	廃止 H	28年度評価に基づ	く見直し(Action)				
	的な取組(Plan)				方向性(Plan						
的な返礼品を用意	が増えるよう、市内業準する。 する。 見直しに係る通知等にで					、本市のPRとなる。 係る通知等への対応:					
平成30年度にお	おける事業の位置付け										
A 重点化・拡大 B 現状のまま総 C 見直して継続	にして継続 2 見直し 3 見直し 4 現状で	は見直しは必要ない には法令等の改正だ の必要性はあるがほ では見直しが不可能 いっ縮小		В	を注視しつつ		されているため、その動向 市税減少の影響は免れない 制度を活用する。				
D 休止・廃止等	2 他事業	美との整理・統合		1							

3 完了

指標名	基準値			事業推移			目標値・	指標の分析	
14 保石	(単位)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標年度	相保の力が	
		計 当初値	ı	ı	ı	ı	ı	数値の比較や推移で評価すること がなじまないため、特に指標の設	
	-	値補正値	-	_	-	-	-	定は行わない。	
	_	実 績	١	ı	ı	ı	ı		
		計 当初値	-	-	-	-	-		
	=	値補正値	ı	1	١	1	ı		
	_	実績	-	-	-	-	ı		

※ 当初値:指標設定当初の計画値、補正値:現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現 状 分 析	3	2	1	
	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施するべき事業である。	市税の減少は免れない? する。	ため、返礼品の贈呈を実	施することで新たな財源	ع
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類以事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

#### 4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)
H30年度

+ =	ず木貝・八丁貝寸の1世位										
		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度				
(事業	<u></u>										
	当 初 予 算 額	0	0	0	1, 764, 000	2, 363, 000	0				
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0				
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0				
	市債	0	0	0	0	0	0				
	その他	0	0	0	0	0	0				
	一般財源	0	0	0	1, 764, 000	2, 363, 000	0				
	予算現額	0	0	0	1, 764, 000	0	0				
	決 算 額	0	0	0	1, 424, 860	0	0				
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0				
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0				
	市債	0	0	0	0	0	0				
	その他	0	0	0	0	0	0				
	一般財源	0	0	0	1, 424, 860	0	0				
	執 行 率	0.0%	0.0%	0.0%	80.8%	0.0%	0.0%				
	‡費)										
	職 員 数	0.00	0.00	0.00	0. 67						
	職員人件費	0	0	0	5, 195, 002						
	嘱 託 員 数				0						
	嘱託員人件費	0	0	0	0						
(間括	接経費)										
	間接経費				57, 005						
	総コスト	0	0	0	6, 676, 867	0	0				

### 5 これまでの取組及び今後の展開

# これまでの主な取組と成果

平成28年度9月15日より、返礼品の贈呈を開始した。本市の魅力が伝わるような返礼品を選定することで、全国的に市のPRを行うことができる新たなツールとなった。民間ポータルサイトやクレジット決済を活用するなど、寄附者の利便性を高めたほか、寄附金の使途についても、総合計画の基本目標に沿った寄附目的を設定できるよう整備するなど、寄附しやすい環境を整備することができた。

# 今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)

ふるさと納税制度全体の見直しがされているため、その動向を注視し、速やかに対応していく必要がある。また、寄附金の使途については総合計画に沿った寄附目的の設定だけでなく、具体的な事業にふるさと納税を活用する手法があるほか、返礼品の選定については本市をPRできる特産品の開発が考えられるなど様々な制度の活用方法が考えられるため、今後も調査・研究に努める必要がある。

			石		事 業 コード	<b>圣</b> 笛車	H28:	年度	H29年度
	会計	款	垻	目	コード	予算事業名 	当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	10	05	30	0148300	府中ふるさと寄附金推進事業費	1, 764, 000	1, 424, 860	2, 363, 000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						合 計	1, 764, 000	1, 424, 860	2, 363, 000

 記載年月
 平成29年9月

 対象年度
 平成28年度

1 事務事業の概要												
事務事業名	行旅死亡人取扱	<b></b> 事業					事 務 事 業コ ー ド	60860400				
概 要	法に基づき、身元不明	の行旅病人(外国人	)を救護及び	ド 行旅死亡人の	死亡人の葬祭を取扱う。							
基本施策	1 施策体系外				主管部課名 福祉保健部 生活援護課							
総合施策	86 施策体系外				事業類型	法定事業						
計画		事業開始年度	平成2年度	~	直しの裁量	市に事業を	見直す裁量はない	`				
根拠法令等	行旅法、墓埋法第9条、					1	九邑 / 纵重18.33					
市関連事業	生活保護費扶助事業	来水银烧机, 州 干1	111111111111111111111111111111111111111	0.111113667	· / KIX V · (C 区) 9	つが思り						
17   月   注   尹   未	生佔体護負債助爭未											
対 象	身元不明の行旅病人(	外国人)、身元不明	の行旅死亡人									
実施の背景	身元不明者の死亡後の	手続きを行うことが	、法で定めら	っれていた。								
事業目標	法の趣旨に従い、発生	した場合は速やかに	実施する。									
事 業 内 容 電車飛び込み自殺などを行った死亡人の身元を証明するものがなく、警察が身元確認を行ってもなお、身元が判明しない死亡の葬祭、公告手続き及び市営納骨堂への納骨といった一連の事務や身元不明の病気外国人を入院治療するなどの救護を行う。												
2 事業計画・	評価											
H27年度実績(				H27年度評	·価 (Check)	評価内容	<b>容</b> B 現状のまま	継続				
▽行旅死亡人取扱	•							の管理、供養に関				
▽市営納骨堂管理 ▽供養回数 1回					通り行った。							
	- □ 新規・レベルアッ	プ ☑ 継続	□見ī	直し	廃止	127年度評価(	に基づく見直し	(Action)				
H28年度の具体	的な取組 (Plan)			H28年度の	方向性(Plan	)						
警察から身元不明 して公告手続きを 供養する。	者の死亡について引継 取り、引取者も判明し;	ぎを受けたときは、ì ない場合は、市営納	東やかに火葬 骨堂に納めて	事案が発生合は葬祭業	した場合には、 者の合祀場や市	速やかに手続 「営納骨堂に納	きを取り、引取す めて供養する。	者が判明しない場				
H28年度実績(	Do)			H28年度評	·価 (Check)	評価内容	容 B 現状のまま	継続				
▽行旅死亡人取扱 ▽市営納骨堂管理 ▽供養回数 1回	始件数 3件			事案発生後に火葬を依	、警察と連携し 類した。また、	、速やかに手 直ちに公告の		ともに、葬祭業者 告示した。				
	- ■ 新規・レベルアッ	プター・経続	□ 見ī	直し	廃止 H	128年度評価1	に基づく見直し	(Action)				
1100 5 5 5 7 1					<i></i>							
警察から身元不明 告手続きを取り、 供養する。 遺留金銭等がある	的な取組 (Plan)  者の死亡についての引ん 遺骨の引取者も判明した 場合は、行旅死亡人の呼 いては東京都に弁償請す	よい場合は、市営納 文扱いに要した費用に	骨堂に納めて	事案が発生 合にな 登 会 に は 会 は る は る は る は る は る に る ら に る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る	業者の合祀場や があり、公示の	速やかに手続 市営納骨堂に 結果、相続人 を進め、事案	:納めて供養する。 、等がいない又は明 に要した費用にす	明らかではない場				
平成30年度にお	おける事業の位置付け											
A 重点化・拡力					法令で定めら	れた事業のた	上め、大幅な見直1	しは必要ない				
B 現状のまま糸	1     大幅       2     見直       3     見直       4     現状で	・見直しは必要ない には法令等の改正が の必要性はあるが即 では見直しが不可能		В	- I - N - N - N - N - N - N - N - N - N	いっいこ ナ ボックに		-1.00€ Ø.00 €				
C 見直して継紀 D 休止・廃止等	2 他事業	ン・縮小 きとの整理・統合		1								

指標名	基準値			事業推移			目標値・	指標の分析	
14 保石	(単位)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標年度	1日1示 シングリ 1/1	
		計 当初値	ı	ı	ı	ı	ı	数値の比較や推移で評価すること がなじまないため、特に指標の設	
	-	値補正値	-	_	-	-	-	定は行わない。	
	_	実 績	١	ı	ı	ı	ı		
		計 当初値	-	-	-	-	-		
	=	値補正値	ı	1	١	1	ı		
	_	実績	-	-	-	-	ı		

※ 当初値:指標設定当初の計画値、補正値:現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現 状 分 析	3	2	1			
	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	3		
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施するべき事業である。	法及び規則により規定されているため。					
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3		
類以事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3		
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3		
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2		
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2		

### 4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

+ =	未見「八円貝寸の												
		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度						
(事業	美費)												
	当 初 予 算 額	1, 012, 000	988, 000	985, 000	985, 000	985, 000	0						
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0						
	都 支 出 金	860,000	851,000	852,000	851,000	851,000	0						
	市債	0	0	0	0	0	0						
	その他	0	0	0	0	0	0						
	一般財源	152, 000	137, 000	133, 000	134, 000	134, 000	0						
	予算現額	1, 012, 000	988, 000	985, 000	985, 000	0	0						
	決 算 額	296, 310	124, 416	124, 416	598, 962	0	0						
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0						
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0						
	市債	0	0	0	0	0	0						
	その他	0	0	0	0	0	0						
	一般財源	296, 310	124, 416	124, 416	598, 962	0	0						
***	執 行 率	29. 3%	12.6%	12.6%	60.8%	0.0%	0.0%						
(人作	<b>‡費</b> )												
]	職員数	0.10	0. 10	0. 16	0.14								
]	職員人件費	836, 411	795, 214	1, 243, 283	1, 076, 339								
	嘱 託 員 数	0.05	0.05	0.02	0.06								
	嘱 託 員 人 件 費	161, 904	167, 536	65, 390	193, 059								
(間接	接経費)												
	間接経費	84, 324	83, 755	33, 341	37, 564								
	総コスト	1, 378, 948	1, 170, 922	1, 466, 430	1, 905, 925	0	0						

### 5 これまでの取組及び今後の展開

# これまでの主な取組と成果

警察から身元不明者の死亡について引継ぎを受けたときは、速やかに火葬するとともに公告手続きを取り、引取者も判明しない場合は市営納骨堂に納めて供養することで、引取者のない人でも、最期は一般の市民と同様に、安心して人生を全うできることにつながっている。

# 今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)

法の趣旨に従い、発生した場合には速やかに実施していく。

	会計	款	石	目	事 業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度
	五司	水人	垬	п	コード		当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	15	05	05	0347000	行旅死亡人取扱費	985, 000	598, 962	985, 000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						合 計	985, 000	598, 962	985, 000

記載年月 平成29年9月 対 象 年 度 平成28年度

1 事務事業の概要													
事務事業名 議会事	事務				事 務コ ー	事業・ド	60860500						
概 要 議会及び	『議員活動の円滑かつ効率的な運営のための事務												
基本施策 1 施	策体系外	主管	部課名	議会事務局	庶務課								
総合施 策 86 施	策体系外	事業	類型	法定事業・	任意事業活	混在							
事業種別 その他の	事務事業 事業開始年度 ~	見直し	の裁量	市に事業の	一部を見る	直す裁量	<b>こ</b> あり						
	治法第百三十八条・府中市議会事務局設置条例												
市関連事業													
対 象 市議会議	員												
実施の背景市政が適	<b>値正に運営されているかをチェックするほか、政</b>	策の立案・決定等	を行う										
事業目標議会及び	ぶ議員活動の円滑かつ効率的な運営												
事 業 内 容 市政が適正に運営されているかをチェックするほか、政策の立案・決定等を行うための、議会の議事日程の作成、議案の整理、会議録の作成、議会インターネット中継など、議事に関する事務また、議会運営以外にも、議長等の日程調整、議員の福利厚生、「市議会だより」の発行、行政視察の依頼と受け入れ、図書室の管理など、庶務に関する事務													
2 事業計画・評価													
H27年度実績 (Do)		H27年度評価 (			容 B 現料		継続						
の作成など、議事に関する 議長等の日程調整、「市議 関する事務を行う。 全国及び関東地区競艇主催 て、それぞれの運営に関す	会だより」の発行、図書室の管理など、庶務に 地議会協議会、東京都市議会議長会会長市とし る事務を行う。	効率的な運営が   改選に伴う事務	区競艇主催地 できた。 を円滑かつ効	!議会協議会 ]率的にでき	会、東京都 きた。	市議会議	&長会の円滑かつ 助の周知に努めた						
改選に伴う事務を行う。「市議会だより」の各戸配布を実施。													
→ □ 新規·レベルアップ □ 継続 □ 見直し □ 廃止 H27年度評価に基づく見直し (Action)													
H28年度の具体的な取組		H28年度の方向		牛及計価	に基づく	見担し	(1001)						
H28年度の具体的な取組 議会の議事日程の作成、議務を行う。 議長等の日程調整、「市議関する事務を行う。 三多摩上下水及び道路建設・行うとともに、会長市であ		H28年度の方向 議会及び議員活 三多摩上下水及	]性 (Plan) 動の円滑かつ び道路建設促 長市であった	効率的な道 進協議会会 全国及び限 ぎを次期会	重営のため 会長市とし 関東地区競 会長市へ円	の事務を て運営に 艇主催地 滑に行う	と行う。 に関する事務を行 地議会協議会、東 )。						
H28年度の具体的な取組 議会の議事日程の作成、議務を行う。 議長等の日程調整、「市議関する事務を行う。 三多摩上下水及び道路建設・行うとともに、会長市であ	(Plan) 案の整理、会議録の作成など、議事に関する事 会だより」の発行、図書室の管理など、庶務に 促進協議会会長市として、運営に関する事務を った各団体の引継ぎを円滑に行う。	H28年度の方向 議会及び議員活 三多摩上下水及 うとともに、会	1性(Plan) 動の円滑かつ び道路建設促 長市であった 会の事務引継	効率的な道 進協議会会 全国及び限 ぎを次期会	軍営のため 会長市とし 関東地区競	の事務を て運営に 艇主催地 滑に行う	と行う。 に関する事務を行 地議会協議会、東 う。						
H28年度の具体的な取組 議会の議事日程の作成、議務を行う。 議長等の日程調整、「市議関する事務下及の道路建設・行うをともにより」 一方の議会だより」 H28年度実績(Do) 議会の機事日程の作成(定の作成など、書室の作成なと、図書室ので道路市のの発行大下水及、会長市とともに、の多摩上ともに、の発行となる長方とともに、	(Plan) 案の整理、会議録の作成など、議事に関する事会だより」の発行、図書室の管理など、庶務に促進協議会会長市として、運営に関する事務をった各団体の引継ぎを円滑に行う。ラー化について検討を行う。 例会4回、臨時会1回)、議案の整理、会議録事務及び議長等の日程調整、「市議会だより」、庶務に関する事務を行う。 促進協議会会長市として、運営に関する事務をった各団体の引継ぎを円滑に行う。ラー化及び本会議インターネット中継画質向上	H28年度の方向 議会及び許高 議会を上に、議下化、議下化、議下化、議会を うた。 前面 第一条を 一点を 一点を 一点を 一点を 一点を 一点を 一点を 一点を 一点を 一点	I性 (Plan) 動の円滑かつ の円滑かつ 長市事務引継 (Check) 動び道路をある引継 (Check) 動び道路をび期金 全ぎをが、 変し、 変し、 変し、 変し、 変し、 変し、 変し、 変し、 でし、 の一段を がし、 の一段を の一段を の一段を の一段を の一段を の一段を の一段を の一段を	効率的な道 進協議で 全国をで期 対極 対極 対極 対極 対極 対極 対極 対極 対極 対極	重営のためし競円 関 でと 競	の事務を対しています。 大のままたので、大のままたので、大のままたので、大のようなでは、大のは、大のは、大のは、大のは、大のは、大のは、大のは、大のは、大のは、大の	と行う。 に関する事務を行 地議会協議会、東 )。 継続 かつ効率的に運営 東京都市議会議						
H28年度の具体的な取組 議会の議事日程の作成、議務を行う。 議長等の日程調整、「市議関する摩上を行びび長期であるともにより」 一方では、1000 日28年度実績(Do) 議会の議事日代表のに関理なるの発生をでは、1000 日28年度実績(Do) 日28年度実績(Do) 日28年度実績のの作成では、1000 日28年度実施の作成では、1000 日28年度ともにより、1000 日28年度ともにより、1000 日28年度ともにより、1000 日28年度ともにより、1000 日28年度ともにより、1000 日28年度ともにより、1000 日28年度に関連など、10000 日28年度に関連など、1000 日28年度に関連など、1000 日3年度に関連など、1000 日3年度に対理など、1000	(Plan) 案の整理、会議録の作成など、議事に関する事会だより」の発行、図書室の管理など、庶務に促進協議会会長市として、運営に関する事務をった各団体の引継ぎを円滑に行う。ラー化について検討を行う。 例会4回、臨時会1回)、議案の整理、会議録事務及び議長等の日程調整、「市議会だより」、庶務に関する事務を行う。 促進協議会会長市として、運営に関する事務をった各団体の引継ぎを円滑に行う。ラー化及び本会議インターネット中継画質向上	H28年度の方向 議会及び議下水、議 三多摩とも議会を うと市市議会議 日28年度評価 議会を書き市の 議会を書きで事務だ度 日2がで長会でありより 化を来して、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、	性 (Plan) 動の円滑かつ促 長っの 関が道市事務引継 (Check) 動び道路及次期面の 全ぎの紙すること	効率的な這些的な会長 選集 を か 対 が 対 が 対 が 対 が 対 が 対 が 対 が 対 が が 対 が	型営のためし競円 関 でと	の事務を営に出ている。四、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	と行う。 に関する事務を行 地議会協議会、東 )。 継続 かつ効率的に運営 東京都市議会議						
H28年度の具体的な取組 議会の議事日程の作成、議務を行う。 議長等の日程調整、「市議 関する事ともにより」 日28年度実績(Do) 議会の議事日程の作成 所成、当時の 日28年度実績(Do) 議会のの発生ともにより」 日28年度実績(Do) 議会のの経済を図書かん、「定のの発力とともにより、 日28年度とのの発力を図書をでいる。 日28年度とのの発力を表している。 日28年度とのの発力を設定している。 日28年度の手が記述している。 日28年度の手が記述している。 日28年度の手が記述している。 日28年度の手が記述している。 日28年度の手が記述している。 日28年度の手が記述している。 日28年度の手が記述している。 日28年度の手が記述している。 日28年度の手が記述している。 日28年度の手が記述している。 日28年度の手が記述している。 日28年度の手が的な取組	(Plan) 案の整理、会議録の作成など、議事に関する事会だより」の発行、図書室の管理など、庶務に促進協議会会長市として、運営に関する事務をった各団体の引継ぎを円滑に行う。ラー化について検討を行う。 例会4回、臨時会1回)、議案の整理、会議録事務及び議長等の日程調整、「市議会だより」、庶務に関する事務を行う。促進協議会会長市として、運営に関する事務をった各団体の引継ぎを円滑に行う。ラー化及び本会議インターネット中継画質向上とを決定。  規・レベルアップ	H28年度の方向 議会及び議下水、議 三多摩とも議会を うと市市議会議 日28年度評価 議会を書き市の 議会を書きで事務だ度 日2がで長会でありより 化を来して、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、	性 (Plan) 動の円滑かつ促長の事務引継 (Check) 動び道 国及次組 の	効率的な這些的な会長 選集 を か 対 が 対 が 対 が 対 が 対 が 対 が 対 が 対 が が 対 が	型営のためし競円 関 でと	の事務を営に出ている。四、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	を行う。 に関する事務を行 地議会協議会、東 )。 継続 かつ効率的に運営 東京都市議会議 ット中継画質向上						
H28年度の具体的な取組 議会の議事日程の作成、議務をでいる。 一般をでは、一般を表している。 一般を表して、 一般を表して、 一般を表して、 一般を表して、 一般を表して、 一般を表して、 一般を表して、 一般を表して、 一般を、 一般を表して、 一般を表して、 一般を表して、 一般を表して、 一般を表して、 一般を表して、 一般を表して。 一般を表し。 一般を表し、 一般を表して。 一般を表して、 一。 一般を表して、 一。 一般を表して、 一。 一。 一。 一。 一。 一。	(Plan) 案の整理、会議録の作成など、議事に関する事会だより」の発行、図書室の管理など、庶務に促進協議会会長市として、運営に関する事務をった各団体の引継ぎを円滑に行う。  例会4回、臨時会1回)、議案の整理、会議録ラー化について検討を行う。  例会4回、臨時会1回)、議案の整理、会議録また務及び議長等の日程調整、「市議会だより」、促進協議会会長市として、運営に関する事務をつった各団体の引継ぎを円滑に行う。 にのよる場合の引継ぎを円滑に行う。ラー化及び本会議インターネット中継画質向上とを決定。  規・レベルアップ	H28年度の方向 議会を職所に、議 議三の方向 議会を職所に、議 後子と市 議会を申している。 日本ので表表に、 日本ので表表に、 日本ので表表に、 日本ので表表に、 日本ので表表に、 日本ので表表に、 日本ので表表に、 日本ので表表に、 日本ので表表に、 日本の表表に、 日本の表表に、 日本の表表に、 日本の表表に、 日本の表表に、 日本の表表に、 日本の表表に、 日本のの表表に、 日本の表表を 日本の表を 日本の表を 日本の表を 日本の表を 日本の表を 日本の表を 日本の表を 日本の表を 日本の表を 日本の表を 日本のも 日本の表を 日本の表を 日本の表を 日本の表を 日本の表を 日本の表を 日本の表を 日本のまを 日本のも 日本のまを 日本のも 日本のも 日本のも 日本のも 日本のも 日本のも 日本のも 日本のも	性 (Plan)   性 (Plan)   動び長会	効進全ぎ 対 対 対 が 対 が 対 が 対 が 対 が 対 が 対 が 対 が 対	型点は 型点は 型点に 型点に 型点に 型点に 型点に 型点に 型点に 型点に	のて艇滑	と行う。 に関する事務を行東 地議会協議会、東 地議会協議会、 継続 かつ効率的に運営 東京都市議会 直 ット中継画質向上 (Action) と行う。を移りたる をある。 低面 政務事の ララ活動費の にこ、でののである。						
H28年度の具体的な取組 議会の議事日程の作成、 議務を行うのという。 一般を行うのという。 一般を表している。 一般を表して、 一般を表している。 一般を表している。 一般を表している。 一般を表している。 一般を表している。 一般を表している。 一般を表している。 一般を表している。 一般を表している。 一般を表している。 一般を表している。 一般を表している。 一般を表している。 一般を表している。 一般を表している。 一般を表している。 一般を表している。 一般を表している。 一般を表している。 一般を表して、 一般を表して、 一般を表して、 一般を表して、 一般を表して、 一般を表して、 一般を表して、 一般を表して、 一般を表して。 一般を表して。 一般を表して、 一。 一般を表して、 一。 一般を表して。 一般を表して、 一。 一般を表して。	(Plan) 案の整理、会議録の作成など、議事に関する事会だより」の発行、図書室の管理など、庶務に促進協議会会長市として、運営に関する事務をった各団体の引継ぎを円滑に行う。 一化について検討を行う。 例会4回、臨時会1回)、議案の整理、会議録事務及び議員等の事務を行う。促進協議会会長市として、運営に関する事務をである事務をである事務を行う。促進協議会会長市として、運営に関する事務をつたれるの引継ぎを円滑に行う。とを決定。  規・レベルアップ	H28年度の方向 議会を度の方向 議会多摩と市 議会多摩と市 議会多摩と市 議会を下に、議 日28年度が長会市の議下、、議 三がで長会市の議来 日28年度が長会会事で長会市を 長二が悪会会事で展会会事で展会会事のが 長会市を 日29年度が馬会会事のと 日29年度が馬会会事のと 日29年度が馬会会を 日20日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 1	性 (Plan)   性 (Plan)   動び長会	効進全ぎ 対 対 対 が 対 が 対 が 対 が 対 が 対 が 対 が 対 が 対	型点は 型点は 型点に 型点に 型点に 型点に 型点に 型点に 型点に 型点に	のて艇滑	と行う。 に関する事務を行東 地議会協議会、東 地議会協議会、 継続 かつ効率的に運営 東京都市議会 直 ット中継画質向上 (Action) と行う。を移りたる をある。 低面 政務事の ララ活動費の にこ、でののである。						
H28年度の具体的な取組 議会の議事日程の作成、市議 務を行うの日程調整、「市議 関三多う日程調整、「市議 関三多う日程調整、「市議 関三多う日程調整、「市議 関三多う日程調整、「市路市で 「市議」ともだより 日28年度実績 (Do) 議会のの発展を会だ。 日28年度実績 (Do) 議会のの発展をとれて、りの事で道をのの発療をでの発療をでの発療をでででででででででででででででいる。 一次のの発療をできるが、上ともだよりり、大きので、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるのででは、といるでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	(Plan) 案の整理、会議録の作成など、議事に関する事会だより」の発行、図書室の管理など、庶務に促進協議会会長市として、運営に関する事務をつた各団体の引継ぎを円滑に行う。  例会4回、臨時会1回)、議案の整理、会議録の上について検討を行う。  例会4回、臨時会1回)、議案の整理、会議録の主席務及び関する事務を行う。 促進協議会会長市として、運営に関する事務をつき一化及び本会議インターネット中継画質向上とを決定。  規・レベルアップ	H28年度の方向 議会多と都	性 (Plan)   動び長会	効進全ぎ 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対	型 ( )	のて艇滑	を行う。 に関する事務を行東 地議会協議会、東 継続 かつ 東京都市議会 に 東京・中継画質 点 以ト中継画質 点とぎびの (Action) を有う。をある。 氏面、政務の に正して、これである。						
H28年度の具体的な取組 議会の議事日程の作成、市議 務を行うの日程調整、「市議 展子のと等等下では、りませい。 日程を介入で、りませい。 日程を介入で、りませい。 日程を介入で、りませい。 日本で入れ、りませい。 日本で入れ、りませい。 日本で入れ、りませい。 日本で入れ、りませい。 日本で入れ、りませい。 日本でのの発達をは、りませい。 日本でののの発達をは、りませい。 日本では、日本のでは、他のでは、他のでは、他のでは、他のでは、他のでは、他のでは、他のでは、他	(Plan) 案の整理、会議録の作成など、議事に関する事会だより」の発行、図書室の管理など、庶務に促進協議会会長市として、運営に関する事務をつた各団体の引継ぎを円滑に行う。  例会4回、臨時会1回)、議案の整理、会議録の上について検討を行う。  例会4回、臨時会1回)、議案の整理、会議録を一種の表別で、運営に関する事務をである。  ののでは、ののでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	H28年度の方向 議会多と都	性 (Plan)   性 (Plan)   動び長会	効進全ぎ 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対	型 ( )	のて艇滑	を行う。 に関する事務を行東 地議会協議会、東 地議会協議会、東 継続 かつ効率的に運営 東京都市議会 直 ット中継画質向上 (Action) を行う。をある。 (Action)						
H28年度の具体的な取組 議会の議事日程の作成、市議 務を行うの日程調整、「市議 関三多う日程調整、「市議 関三多う日程調整、「市議 関三多う日程調整、「市議 関三多う日程調整、「市路市で 「市議」ともだより 日28年度実績 (Do) 議会のの発展を会だ。 日28年度実績 (Do) 議会のの発展をとれて、りの事で道をのの発療をでの発療をでの発療をでででででででででででででででいる。 一次のの発療をできるが、上ともだよりり、大きので、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるでは、といるのででは、といるでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	(Plan) 案の整理、会議録の作成など、議事に関する事会だより」の発行、図書室の管理など、庶務に促進協議会会長市として、運営に関する事務をつた各団体の引継ぎを円滑に行う。  例会4回、臨時会1回)、議案の整理、会議録の上について検討を行う。  例会4回、臨時会1回)、議案の整理、会議録の主席務及び関する事務を行う。 促進協議会会長市として、運営に関する事務をつき一化及び本会議インターネット中継画質向上とを決定。  規・レベルアップ	H28年度の方向 議会多と都	性 (Plan)   性 (Plan)   動び長会	効進全ぎ 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対	型 ( )	のて艇滑	を行う。 に関する事務を行東 地議会協議会、東 継続 かつ効率的に運営 東京都・職質向上 (Action) と行う。を務事の上と をある。 低面、政務のに にでする。						

1

2 他事業との整理・統合

1 休止 2 廃止 3 完了

D 休止・廃止等

指標名	基準値			事業推移			目標值·	指標の分析	
拍标石	(単位)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標年度		
		計当初値画	1	1	1	1	1	数値の比較や推移で評価すること がなじまないため、特に指標の設	
	-	値補正値	_	_	-	-	-	定は行わない。	
	_	実 績	١	ı	ı	ı	ı		
		計 当初値画	-	-	-	-	-		
	=	値補正値	ı	1	ı	1	1		
	_	実績	_	_	- + +	_	_	tr (\(\frac{1}{2}\) \(\frac{1}{2}\) \(\frac{1}2\) \(\frac{1}{2}\) \(\frac{1}2\) \(\frac{1}2\)	

※ 当初値:指標設定当初の計画値、補正値:現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現 状 分 析	3	2	1			
	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	3		
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施するべき事業である。	市民の代表である議員が、市政が適正に運営されているかをチェックする ほか、政策の立案・決定など、議会としての役割を行うため					
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3		
類以事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3		
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3		
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3		
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2		

### 4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事第	<b>美費</b> )						
	当 初 予 算 額	399, 193, 000	394, 116, 000	433, 274, 000	412, 431, 000	395, 607, 000	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	399, 193, 000	394, 116, 000	433, 274, 000	412, 431, 000	395, 607, 000	0
	予算現額	396, 552, 000	388, 409, 000	427, 225, 000	401, 435, 000	0	0
	決 算 額	392, 840, 688	384, 084, 558	422, 578, 183	396, 683, 522	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	392, 840, 688	384, 084, 558	422, 578, 183	396, 683, 522	0	0
ŧ	執 行 率	99.1%	98.9%	98. 9%	98.8%	0.0%	0.0%
(人作							
]	職員数	11.00	12.00	12.00	12.00		
	職員人件費	87, 916, 048	91, 365, 060	93, 494, 916	93, 510, 036		
	嘱 託 員 数	1	1	1	1		
	嘱 託 員 人 件 費	3, 238, 077	3, 350, 723	3, 269, 483	3, 217, 657		
(間接	接経費)						
	間接経費	11, 669, 408	13, 003, 192	15, 022, 357	12, 442, 075		
	総コスト	495, 664, 221	491, 803, 533	534, 364, 939	505, 853, 290	0	0

### 5 これまでの取組及び今後の展開

# これまでの主な取組と成果

議会及び議員活動の円滑かつ効果的な運営が実施できている。 「市議会だより」の各戸配布や市議会インターネット中継を通じて、議会の活動の周知に努めた。

# 今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)

議会改革検討委員会で挙げられた課題等を、実施に向けて検討し、これまでと同様に、議会及び議員活動の円滑かつ効果的な運営を実施していく。

6 構成事業一覧

(単位:円)

	Λ=1	+1			事 業	7 10 - 4 14 15	H284	年度	H29年度
	会計	款	項	目	コード	予算事業名 	当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	05	05	05	0004000	議員活動費	374, 610, 000	362, 308, 237	365, 242, 000
2	01	05	05	05	0005000	議会報発行費	13, 958, 000	12, 806, 401	13, 311, 000
3	01	05	05	05	0005500	議長車購入費	6, 200, 000	5, 990, 000	
4	01	05	05	05	0006000	負担金 市議会議長会	1, 214, 000	1, 186, 000	1, 144, 000
5	01	05	05	05	0007000	負担金 全国市議会議長会基地協議会	46, 000	32, 000	46, 000
6	01	05	05	05	0008000	負担金 全国都市問題会議	30, 000	40,000	30, 000
7	01	05	05	05	0009000	負担金 三多摩上下水及び道路建設促進協議会	20,000	20,000	20, 000
8	01	05	05	05	0010000	負担金 全国高速自動車道市議会協議会	20, 000	20, 000	20, 000
9	01	05	05	05	0011000	負担金 会営競馬場所在都市議会協議会	128, 000	127, 200	129, 000
10	01	05	05	05	0012000	負担金 北方領土の返還を求める都民会議	5, 000	5, 000	5, 000
11	01	05	05	05	0013000	補助金 政務活動費	16, 200, 000	14, 148, 684	15, 660, 000
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						合 計	412, 431, 000	396, 683, 522	395, 607, 000

平成29年9月 対 象 年 度 平成28年度

1 事務事業の	概要												
事務事業名	負担金 東京市	市町村総合事務	——— 務組合管理	<del></del> 里費		事務事業 60860600							
概要	東京市町村総合事務組	合の経費を負担する	<b>ふもの。</b>										
<b>基本施策</b>	1 施策体系外				主管部課名	政策総務部 総務管理課							
総合施策	86 施策体系外				事業類型	法定事業							
事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	昭和63年度	~	直しの裁量	市に事業を見直す裁量はない							
根拠法令等	東京市町村総合事務組	 1合規約											
市関連事業	71777 71772 7177												
		- ^											
対象	東京市町村総合事務組	l合											
実施の背景	東京都内の市町村 (3 総合事務組合が設置さ	9団体)が、連絡、 れたこと。	調整、相互協	力及び事務事	¥業の共同処理を	を行うために一部事務組合として、東京市町村							
事業目標	市町村間の連携を推進	<b>ますることにより、f</b>	主民の福祉の増	進を図ること	- 0								
, ,,,													
事業内容	交通災害共済事業(ちょこっと共済) 、市町村職員の研修事業及び非常勤消防団員や作業従事者の損害補償・退職報償金等の支給事業の共同処理、東京自治会館の設置、管理及び運営などを行っている東京市町村総合事務組合の管理運営費を負担するもの。												
2 事業計画・	評価												
H27年度実績(	Do)			H27年度評	描 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続							
管理運営費負担金	として444万円3千	円を支出した。		当初計画ど	おり管理運営費	負担金を支出できた。							
	- □ 新規・レベルアッ	プ・図雑続	□ 見直										
U00 5 5 0 E 4		) III III		_									
	<b>的な取組(Plan)</b> :として447万円2千	田ま士川上マ		1	<mark>方向性(Plan</mark> 負担金を継続し								
FAZET A NEW	2 0 (441)/12 1	техну с		1 THE P	M IT IN CHENT	· (ДД) 3°							
H28年度実績(	Do)			H28年度評	描 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続							
管理運営費負担金	さとして447万円2千	円を支出した。		当初計画と	おり管理運営費	<b>貴負担金を支出できた。</b>							
٠,	- □ 新規・レベルアッ	プ 🔽 継続	□ 見直	īl 🗆	廃止	H28年度評価に基づく見直し(Action)							
H29年度の具体	的な取組 (Plan)			H29年度の	方向性(Plan	.)							
管理運営費負担金	として386万円を支	出する。		管理運営費	負担金を継続し	て支出する。							
平成30年度にま	おける事業の位置付け	-											
A 重点化・拡大					<b>社会経済</b> 出版	Rの変化に応じて構成市町村の負担割合が常に公							
B 現状のまま絹	1     大幅       2     見直       3     見直	な見直しは必要ない しには法令等の改正 しの必要性はあるが	が必須 時期尚早	В	平なものとな 要するものと 体は円滑に行	会るよう、負担金額の算定方法については検討を と思われるが、東京市町村総合事務組合の運営自 行われているため、今後も継続して管理運営費負 していく必要がある。							
0 日本) 一种与		では見直しが不可能			-								
C 見直して継続													
	1 Z 111. <del>11</del> 3	業との整理・統合	1										
D 休止・廃止等				1									

3 完了

(単位:円、人)

#### 3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値			事業推移			目標値・	指標の分析	
14 保石	(単位)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標年度	1日1示 シングリ 1/1	
		計 当初値	ı	ı	ı	ı	ı	数値の比較や推移で評価すること がなじまないため、特に指標の設	
	-	値補正値	_	_	-	-	-	定は行わない。	
	_	実 績	١	ı	ı	ı	ı		
		計 当初値	-	-	-	-	-		
	=	値補正値	ı	1	١	1	ı		
	_	実績	-	-	-	-	ı		

※ 当初値:指標設定当初の計画値、補正値:現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現 状 分 析	3	2	1			
	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	3		
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施するべき事業である。	東京都内の市町村が共同設置している一部事務組合の管理運営費を構成各 市が負担するものであり、市が実施しなければならない。					
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3		
類以事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3		
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1		
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3		
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2		

### 事業費・人件費等の推移

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(∄	事業費)						
	当 初 予 算 額	4, 246, 000	4, 250, 000	4, 443, 000	4, 472, 000	3, 860, 000	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0

(争	業費)						
	当 初 予 算 額	4, 246, 000	4, 250, 000	4, 443, 000	4, 472, 000	3, 860, 000	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都支出金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	4, 246, 000	4, 250, 000	4, 443, 000	4, 472, 000	3, 860, 000	0
	予 算 現 額	4, 246, 000	4, 250, 000	4, 443, 000	4, 472, 000	0	0
	決 算 額	4, 246, 000	4, 250, 000	4, 443, 000	4, 472, 000	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都支出金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	4, 246, 000	4, 250, 000	4, 443, 000	4, 472, 000	0	0
	執 行 率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
(人	件費)						
	職 員 数	0.01	0.01	0.01	0.01		
	職員人件費	79, 924	76, 138	77, 912	77, 925		
	嘱 託 員 数	0	0	0	0		
	嘱託員人件費	0	0	0	0		
(間	接経費)						
	間 接 経 費	0	0	158	0		
	総コスト	4, 325, 924	4, 326, 138	4, 521, 070	4, 549, 925	0	0

### これまでの取組及び今後の展開

# これまでの主な取組と成果

毎年度、東京市町村総合事務組合の管理者が議会の議決を経て定めた管理運営費負担金を支出している。

### 今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)

管理運営費負担金の内訳の1つであり、負担割合が昨今の社会経済状況に適合しているか検討を要するものと考えていた「収益事業収入割」が、平成29年度から廃止され、本市の管理運営費負担金の負担金額は前年度比で60万円程度減額されたが、構成市町村の負担割合が常に公平なものになるよう、負担金額の算定方法について検討を進める必要がある。

			元		事 業 コード	マヴェック	H28	年度	H29年度
	会計	款	垻	目	コード	予算事業名 	当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	10	05	05	0074000	負担金 東京市町村総合事務組合管理費	4, 472, 000	4, 472, 000	3, 860, 000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						슴 計	4, 472, 000	4, 472, 000	3, 860, 000

記載年月 平成29年9月 対 象 年 度 平成28年度

事務事業名	固定資産評価署	<b>客</b> 查委員会運	営事務				事 務 事 業コ ー ド	60860800
概要	固定資産評価審査委員	会の運営				<u>,                                      </u>		
基本施策	1 施策体系外				主管部課名	政策総務部	政策課	
総合施策	86 施策体系外				事業類型	法定事業		
事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	昭和29年度	~ 5	直しの裁量	市に事業の	一部を見直す裁量	<b></b> 最あり
根拠法令等	地方税法、府中市固定	資産評価審査委員会	会条例					
市関連事業								
対 象	固定資産税の納税者で	あって、固定資産記	課税台帳に登録	された価格	こ関して不服のは	ある者		
実施の背景	地方税法において、固 置することが定められ	ているため。						
事 業 目 標	固定資産課税台帳に登 により、適正かつ公平	録された価格に関す な価格の決定を保証	する不服につい 証し、固定資産	て、中立的 税におけるi	・専門的な立場だ 果税の公平を期で	いら当該不服の する。	の内容について審	査決定すること
事業内容	固定資産税の納税者で けた後、固定資産評価 当該審査申出の内容に	i審査委員会を開催し	し、市長から提	された価格出される弁に	こ関して不服の8 月書、当該者から	ある者から、i ら提出される♪	当該価格に関する 対論書等に基づき	審査の申出を受 、審査を進め、
2 事業計画・								
H27年度実績(					平価 (Check)		<b>容</b> B 現状のまま	
168件、平成2 ○委員会 全	成27年度分:67件 4年度登録価格変更分 12回 :し	、平成23年度登録 :170件	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	うとともに	、適切に対応し 会及び定期協議	た。		て慎重な審理を行 な情報を収集する
<ul><li>○研修会</li><li>6</li></ul>	月9日(出席:3名( 0月22日(出席:2:	委員2名)、会場: 名(委員1名)、会	港区) 涂場:三鷹市)		7-0			
	┏	プ ☑ 継続	□ 見直	[l □	廃止	127年度評価	に基づく見直し	(Action)
1100 左 本 6 日 仕								
H28年度の具体	的な取組 (Plan)			H28年度0	方向性(Plan	)		
▼委員会開催 ▼研修会への参加	的な取組(Plan)  、定期協議会への出席 出があった場合には、	など、情報収集に努 適正に対応する。	<b>3</b> める。				審査申出に対し、	て適正な対応を行
▼委員会開催 ▼研修会への参加	1、定期協議会への出席 出があった場合には、:	など、情報収集に努 適正に対応する。	<b>きめる</b> 。	研修会等^う。		退収集に努め、	審査申出に対し <sup>*</sup>	
▼委員会開催 ▼研修会への審査申 ▼その他、審査申 H28年度実績( ○審査員改会 ○行研修会 ) ○定期協議会 1	1、定期協議会への出席 出があった場合には、:	適正に対応する。	÷場:千代田区	研修会等へ う。 H28年度記 審査の申b	の参加など情報 呼価 (Check)	<ul><li>製収集に努め、</li><li>評価内:</li><li>研修会及び定</li></ul>	容 B 現状のまま	
▼委員会開催 ▼研修会への参加 ▼その他、審査申 日本を 日本を 日本を 日本を 日本を 日本を 日本を 日本を 日本を 日本を	Do)  (件 注3 回 7 月 5 日開催 (出席: 2	適正に対応する。 名 (委員1名)、会 : 4名 (委員1名)	÷場:千代田区	研修会等へう。 H28年度記 審査の申占 要な情報を	の参加など情報 「 <mark>価(Check)</mark> はなかったが、 い集することか	W収集に努め、 <b>評価内</b> : 研修会及び定 ぶできた。	容 B 現状のまま	<ul><li>継続</li><li>し、審査事務に必</li></ul>
▼委員会開催 ▼研修会への審査申 ▼その他、審査申 日本を表して、 「会会のでである。」 「会会のである。」 「会会では、 「会のである。」 「会のである。 「会のである。」 「会のである。 「会のである。 「会のである。 「会のである。 「会のである。 「会のである。 「会のである。 「会のである。 「会のである。 「会のである。 「会のである。 「会のである。 「会のである。 「会のである。 「会のである。 「会のである。 「会のでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでもの	Do)  (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (	適正に対応する。 名 (委員1名) 、会 : 4名 (委員1名)	☆場:千代田区 、会場:青梅	研修会等へう。 H28年度記審査の申上要な情報を	の参加など情報 「 <mark>価(Check)</mark> はなかったが、 小収集することか	収集に努め、 <b>評価内</b> : 研修会及びだってきた。	<b>容</b> B 現状のまま E期協議会に参加	<ul><li>継続</li><li>し、審査事務に必</li></ul>
▼委員会開催 ▼研修他、審査申  H28年度実績( ○審査員政会 ( ○審査員政会 ( ○審査員政会 ( ○下で期協議会 ( 下で期協議会 ( ▼を関係を) ( ▼では、 ( ○下では、 ( ○下で	Do)  (件 注33回 ドカラ 日開催 (出席: 2 1月10日開催 (出席 ・	適正に対応する。 名(委員1名)、会 :4名(委員1名) プ ✓ 継続 る。	☆場:千代田区 、会場:青梅	H28年度記審査の申上要な情報を H29年度の	MG (Check) はなかったが、シャル集することか  廃止 H  アカウナ向性 (Plan	収集に努め、 <b>評価内</b> : 研修会及び定 できた。	容 B 現状のまま E期協議会に参加 に基づく見直し	<ul><li>継続</li><li>し、審査事務に必</li></ul>
▼委員保 ▼研修他、 ★子の他、 ★子の他、 ★子の他、 ★子の他、 ★子の他、 ★子の他、 本書員政修 本書員政修 本書員政修 本書員政修 本書員政修 本書員政修 本書員政修 本書員政修 本書員政修 本書員政修 本書員、 本書員政修 本書員政修 本書員、 本書員政修 本書員、 本書員、 本書員、 本書員、 本書員、 本書員、 本書員、 本書員、 本書員、 本書員、 本書員、 本書員、 本書員、 本書員、 本書員、 本書員、 本書員、 本書。 本書。 本書。 本書。 本書。 本書。 本書。 本書。	Do)  (件 (出席: 2 1月10日開催(出席: 2 1月10日開催(出席: 2 1月10日開催(出席: 2 1月10日開催(出席)	適正に対応する。 名 (委員1名)、会 : 4名 (委員1名) プ ☑ 継続 る。 適正に対応する。	☆場:千代田区 、会場:青梅	研修会等へう。  H28年度記審査の申上要な情報を  H29年度の研修会等へ	MG (Check) はなかったが、シャル集することか  廃止 H  アカウナ向性 (Plan	収集に努め、 <b>評価内</b> : 研修会及び定 できた。	容 B 現状のまま E期協議会に参加 に基づく見直し	<ul><li>継続</li><li>し、審査事務に必</li><li>(Action)</li></ul>
▼委員会開催 ▼研修会へ、審査申  H28年度実績( ○審査員報会 審査員報会 の○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	Do)  (件 注 3 回 : 月 5 日開催 (出席: 2 1月 1 0 日開催 (出席: 2 1月 1 0 日開催 (出席: 2 1月 1 0 日開催 (出席 : 2 1月 1 0 日用 ) 日間 (出席 : 2 1月 1 0 日用 ) 日間 (出席 : 2 1月 1 1 0 日用 ) 日間 (日間 : 2 1月 1 1 1 0 日用 ) 日間 (日間 : 2 1月 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	適正に対応する。 名 (委員1名)、会 : 4名 (委員1名) プ ☑ 継続 る。 適正に対応する。	☆場:千代田区 、会場:青梅	研修会等へう。  H28年度記審査の申上要な情報を  H29年度の研修会等へ	Mark と情報 (Check) はなかったが、 と収集することが を止 を (Plankの参加など情報	根収集に努め、 <b>評価内</b> : 研修会及び定さできた。	容 B 現状のまま E期協議会に参加 に基づく見直し 審査申出に対し、	<ul><li>継続</li><li>し、審査事務に必</li><li>(Action)</li></ul>
▼委員保備 ▼研修他、審査申 H28年度実績( ○審査員政修の会議会 市) ○定期 H29年度の具体 ▼委明協会へ、審査申 ※である。 「ののでは、	Do)  (件と39回2月5日開催(出席:21月10日開催(出席:21月10日開催(出席:21月10日開催(出席:21月10日開催(出席))  (本は) 新規・レベルアッ 的な取組(Plan)  (本は) 特報収集に努め、  (本は) は、情報収集に努め、  (本は) は、	適正に対応する。 名 (委員1名)、会 : 4名 (委員1名) プ ☑ 継続 る。 適正に対応する。	<ul><li>★場:千代田区</li><li>、会場:青梅</li><li>見値</li><li>が必須</li><li>時期尚早</li></ul>	研修会等へう。  H28年度記審査の申上要な情報を  H29年度の研修会等へ	Mark と情報 (Check) はなかったが、 と収集することが を止 を (Plankの参加など情報	収集に努め、 <b>評価内</b> : 研修会及び定 できた。	容 B 現状のまま E期協議会に参加 に基づく見直し 審査申出に対し、	<継続 し、審査事務に必 . (Action)

1

2 他事業との整理・統合

1 休止 2 廃止 3 完了

D 休止・廃止等

指標名	基準値			事業推移			目標値・	指標の分析
14 保石	(単位)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標年度	相保の力机
		計 当初値	ı	ı	ı	ı	ı	数値の比較や推移で評価すること がなじまないため、特に指標の設
	1	値補正値	_	_	-	-	-	定は行わない。
	_	実 績	ı	1	ı	ı	ı	
		計 当初値	-	-	-	-	-	
	_	値補正値	ı	1	١	1	ı	
	_	実 績	-	-	-	-	-	

※ 当初値:指標設定当初の計画値、補正値:現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現 状 分 析	3	2	1	
	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	3
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施するべき事業である。	地方税法において市町村 会の運営に関する事務	対に設置することが定め であり、市が実施しなけ	られた行政機関である委 ればならない。	員
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3
類以事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

### 4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人) H30年度

	FAR MIRGO	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業	<b>業費</b> )						
	当 初 予 算 額	412,000	195, 000	586, 000	223, 000	220, 000	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	412,000	195, 000	586, 000	223, 000	220, 000	0
	予算現額	412,000	195, 000	585, 000	223, 000	0	0
	決 算額	293, 325	108, 466	488, 956	211, 542	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	293, 325	108, 466	488, 956	211, 542	0	0
	執 行 率	71.2%	55. 6%	83.6%	94.9%	0.0%	0.0%
(人作	牛費)						
	職 員 数	0.61	0.46	0. 67	0.46		
	職員人件費	4, 875, 344	3, 518, 789	5, 194, 162	3, 596, 540		
	嘱託員数	0	0	0	0		
	嘱託員人件費	0	0	0	0		
(間打	妾経費)						
	間接経費	450	22, 707	38, 905	40, 449		
	総コスト	5, 169, 119	3, 649, 962	5, 722, 023	3, 848, 531	0	0

### 5 これまでの取組及び今後の展開

# これまでの主な取組と成果

審査申出に対し適切に対応している。また、委員の審査事務に係る情報収集のため、資産評価システム研究センターの研修会への参加、東京都内の26市で構成する東京都市固定資産評価審査委員会審査事務協議会定期協議会への参加等を行っている。

### 今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)

審査申出に対してより迅速かつ適正な対応を行えるよう、研修等により、委員の審査事務に係る情報収集を図っていく。

	ᄉᆗ	力木	元		事 業 コード	マ質古来々	H28:	年度	H29年度
	会計	款	項	目	コード	予算事業名	当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	10	10	05	0206500	固定資産評価審査委員会運営費	203, 000	201, 542	198, 000
2	01	10	10	05	0210000	負担金 東京都市固定資産評価審査委員会審査事務協 議会	14, 000	8,000	16, 000
3	01	10	10	05	0211000	負担金 資産評価システム研究センター	6, 000	2,000	6, 000
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						合 計	223, 000	211, 542	220, 000

 記載年月
 平成29年9月

 対象年度
 平成28年度

# 1 事務事業の概要

事務事業名	総合教育会議運営事務				事 務 事 コ ー	業 ド	60860900			
概要	市長と教育委員会の連携を強化するため、両者が協議及	び調整を行う	場として設置す	-る会議						
<b>基本施策</b>	1 施策体系外	主	管部課名	政策総務部	邓 政策課					
総合施策	86 施策体系外	<u> </u>	事業類型	法定事業						
事業種別	その他の事務事業 事業開始年度 平成27年度	~ 見证	直しの裁量	市に事業の	一部を見直す	-裁量	<b>あり</b>			
根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律									
市関連事業										
-11 — #	松本チョ人の記憶事故に見より安康(松本・大川・ココ	(本人本子)								
対象	教育委員会の所掌事務に属する案件(教育、文化、スポ	・一ク、育少年1	建至 目							
実施の背景	平成27年4月1日施行の地方教育行政の組織及び運営の。									
事業目標	会議において、市長と教育委員会が十分な意見交換をす ことを目指す。	-ることにより、	、両者が教育旅	画策の方向性	を共有し、一	致し、	て執行にあたる			
事業内容	市長と教育委員会との協議・調整の場として、原則年4回市長が召集する。構成員は、市長、教育長、教育委員とし、会議は原則									
2 事業計画・		I		==:/===			Anti-Artic			
H27年度実績(I	•	H27年度評価	_ , ,		<b>容</b> B 現状の					
」を7月に策定し	重要施策の方向性や教育委員会との調整が必要な議題に った。	として、市長 に設置した。 おける大綱」	を、教育長、教 教育の目標や	育委員会委員 施策の根本的 か、教育予算	員で構成される 的な方針を定と 算に係る重要が	る総合 める	ひで調整を行う場合教育会議を新たい所中市の教育にの方向性や教育委			
₹ V	▼	直し □ 原	廃止 H	27年度評価	に基づく見	直し	(Action)			
H28年度の具体	的な取組(Plan)	H28年度の7	ち向性 (Plan	)						
。 ▽会議開催予定 7月 次年度 10月 次年度	開催し、市長部局と教育委員会の連携体制の構築に努める その市政の運営方針等 その教育方針等 その予算編成状況等	市長部局とう。	: 教育委員会の	両者で共有で	すべき事項に^	ついて	: 協議・調整を行			
H28年度実績(I	Do)	H28年度評価	面(Check)	評価内	<b>容</b> B 現状の	)まま	継続			
教育予算に係る ついて協議を行っ ▽開催回数(全3			に係る重要施策 と行い、課題を		教育委員会との	の調惠	整が必要な議題に			
lacksquare	<ul><li>■ 新規・レベルアップ</li><li>☑ 継続</li><li>□ 見ī</li></ul>	直し □ 原	廃止 H	28年度評価	に基づく見	直し	(Action)			
	的な取組(Plan)		ち向性 (Plan							
。 ▽会議開催予定 7月 次年度 10月 次年度	開催し、市長部局と教育委員会の連携体制の構築に努める 長の市政の運営方針等 医の教育方針、「府中市の教育における大綱」の改訂等 医の予算編成状況等	う。また、		における大約	綱」の計画期間		∵協議・調整を行 ヹ成29年度までと			
平成30年度によ	おける事業の位置付け									
A 重点化・拡大 B 現状のまま総	大して継続  1 大幅な見直しは必要ない 2 見直しには法令等の改正が必須 3 見直しの必要性はあるが時期尚早 4 現状では見直しが不可能	В	引き続き充実 会議運営に努	した議論のもめる。	湯となるよう、	効果	<b>果的かつ効率的な</b>			
C 見直して継続 D 休止・廃止等	2 他事業との整理・統合	1								

2 廃止
 3 完了

指標名	基準値	事業推移				目標値・	指標の分析	
担保石	(単位)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標年度	担保の方例
		計当初値画	-	ı	ı	ı	ı	数値の比較や推移で評価すること がなじまないため、特に指標の設
	-	値補正値	_	_	-	-	-	定は行わない。
	_	実 績	1	ı	ı	ı	ı	
		当初値画	-	-	-	-	-	
	=	値補正値	-	1	ı	1	ı	
	_	実績	_	-	-	_	_	+ ()(+n/+) > +++) + /+)

※ 当初値:指標設定当初の計画値、補正値:現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現 状 分 析	3	2	1		
	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	3	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施するべき事業である。	地方教育行政の組織及び運営に関する法律による。				
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3	
類以事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3	
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3	
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3	
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2	

#### 4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

4 =	事未負・人件負守の:									
		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度			
(事業	<b>業費</b> )									
	当 初 予 算 額	0	0	72,000	98,000	79, 000	0			
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0			
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0			
	市債	0	0	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	0	0	72,000	98,000	79, 000	0			
	予算現額	0	0	72,000	98,000	0	0			
	決 算 額	0	0	21, 481	20, 971	0	0			
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0			
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0			
	市債	0	0	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	0	0	21, 481	20, 971	0	0			
	執 行 率	0.0%	0.0%	29. 8%	21.4%	0.0%	0.0%			
(人作	牛費)									
	職員数	0.00	0. 11	0.62	0. 56					
	職員人件費	0	860, 149	4, 794, 611	4, 395, 771					
	嘱託員数		0	0	0					
	嘱託員人件費	0	0	0	0					
(間打	妾経費)									
	間接経費		5, 344	31, 440	48, 235					
	総コスト	0	865, 493	4, 847, 532	4, 464, 977	0	0			

### 5 これまでの取組及び今後の展開

# これまでの主な取組と成果

平成27年4月に府中市総合教育会議を設置し、7月に「府中市の教育に関する大綱」を策定した。これまで取り扱った協議題としては、教育委員会における施策展開の方向性のほか、放課後子ども総合プランについて、市立小・中学校の不登校児童・生徒の状況について、青少年健全育成基本方針について、東京オリンピック・パラリンピック競技大会等に係る対応について、スポーツタウン府中の実現について、子どもたちの現状と取り巻く環境について、など。

# 今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)

市長部局と教育委員会の連携の場として充実したものにするためには、協議題として何を取り扱うかが課題となる。予算に関わる部分のほか、幼稚園や保育園など幼児教育・保育の在り方やその連携、放課後子ども教室の取扱などが考えられる。会議の開催を重ね、運営方法の見直し及び調整をすることで、会議のスタイルを確立していく必要がある。

	会計	款		目	事 業 コード	予算事業名	H28:	年度	H29年度
	云司	水人	垻	П	コード	<b>『异</b> 争未石	当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	10	05	05	0021700	総合教育会議運営費	98, 000	20, 971	79, 000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						合 計	98, 000	20, 971	79, 000

 記載年月
 平成29年9月

 対象年度
 平成28年度

1 事務事業の	1 事務事業の概要										
事務事業名	スポーツタウン府中推進事業		事務事業 60860950								
概要	2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピッ	ク・パラリンピックの開催を	を契機とした本市の取組を推進する。								
基本施策	1 - 1 1 1 1 1	主管部課名	政策総務部 政策課								
総合施策		事業類型	任意事業								
事業種別	その他の事務事業 <b>事業開始年度</b> 平成27年度	~ 見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり								
根拠法令等	まち・ひと・しごと創生法、府中市東京オリンピック・	パラリンピック競技大会等	関連事業推進本部要綱								
市関連事業	オリンピック等はスポーツを起点に観光や文化など多様	な分野に関連する。									
対 象	市民、市民団体、職員、民間事業者など										
実施の背景	2019年に日本でラグビーワールドカップ、2020年に東京 ンピック等の開催を一層の地域活性化を促進する絶好の	でオリンピック・パラリン! 契機として捉えている。	ピックを開催することが決定し、本市ではオリ								
事 業 目 標	オリンピック等の開催を一層の地域活性化を促進する絶 ツの振興、観光客の増加などのレガシーの創出を図る。	ー 好の契機として捉え、本市の	り持続的な発展へとつなげるため、地域スポー								
事業内容	事 <b>業 内 容</b>										
2 事業計画・											
H27年度実績(		H27年度評価 (Check)	評価内容 A 重点化・拡大して継続								
<ul><li>■「府中市東京オロジェクト基本力</li></ul>	-リンピック・パラリンピック競技大会等関連事業推進プ 5針」の策定■東芝ブレイブルーパス・サントリーサンゴ	平成27年度は大会の開 連団体レの関係を築くこと	開催に向けた取組の初年度として位置付け、各関:ができ、28年度以降に事業を本格化するため								
リアスによるプレ	<ul><li>シーズンマッチ(約1500名)・トップリーグ公式戦</li></ul>	┃の基盤を整備することがて	<b>ごきた。</b>								
のパブリックビュ	(約200名)■ラグビーワールドカップ2015日本代表戦 - ーイング(対スコットランド・サモア戦)(ともに43 長報告会(約4000名)■市内外イベントでのPRブー 別品の作成	さらに、キャンプ地誘致 うとともに、市内外イベン 醸成を図った。	なに向けたパンフレット及びのぼり旗の作成を行いた大会関連PRブースを出展し、大会気運の								
	<ul><li>新規・レベルアップ □ 継続 □ 見直</li></ul>		107年度記伝に甘ざく日末し(4)に、)								
		<u> </u>	H27年度評価に基づく見直し(Action)								
	ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー	ー H28年度の方向性(Plan	)								
■本市の取組を示仮称)の設置■リ (大会出場者壮行連携したラグビー		H28年度の方向性 (Plan 平成 2 7年度に策定した	」) - 基本方針に基づき、事業を具体化した「アクシ 5定するとともに、市民会議(仮称)を設置し、								
■本市の取組を示仮称)の設置■リ (大会出場者壮行 連携したラグビー リーサンゴリアス 醸成事業	的な取組(Plan)  Rした「アクションプラン(仮称)」の策定■市民会議(オデジャネイロオリンピック・パラリンピック関連事業子会・パブリックビューイングなど)■調布市・三鷹市とフェスティバルの開催■東芝ブレイブルーパス・サントと協働したラグビーイベントの開催■大会に向けた気運	H28年度の方向性 (Plan 平成27年度に策定した ョンプラン (仮称)」を第 大会開催に向けた基盤を整	」) - 基本方針に基づき、事業を具体化した「アクシ 5定するとともに、市民会議(仮称)を設置し、								
■本市の取組を示して、 「仮称)の設置 単り (大会に 大会に 大会に 大会に 大会に 大学 ) 東京 は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	的な取組(Plan)  Rした「アクションプラン(仮称)」の策定■市民会議(オデジャネイロオリンピック・パラリンピック関連事業子会・パブリックビューイングなど)■調布市・三鷹市とフェスティバルの開催■東芝ブレイブルーパス・サントと協働したラグビーイベントの開催■大会に向けた気運	H28年度の方向性 (Plan 平成27年度に策定した ョンプラン (仮称)」を策 大会開催に向けた基盤を整 H28年度評価 (Check) オリンピック・パラリンと 中推進委員会を設置したこ ラリンピック等を推進して	D) 主基本方針に基づき、事業を具体化した「アクシ 設定するとともに、市民会議(仮称)を設置し、 を備する。								
■本市の取組を示りて 仮称)会社で の出たフェース (大進・サース でで、大きな、 一は、 一は、 一は、 一は、 一は、 一は、 一は、 一は	的な取組 (Plan)  Rした「アクションプラン(仮称)」の策定■市民会議(オデジャネイロオリンピック・パラリンピック関連事業 デ会・パブリックビューイングなど)■調布市・三鷹市と一フェスティバルの開催■東芝プレイブルーパス・サントなど的働したラグビーイベントの開催■大会に向けた気運  Do)  Rした「アクションプラン」の策定■市民会議の設置■リーンピック・パラリンピック・パラリンピック・パラリンピックをしまる で は と は 場 者 壮行 ゴールンピック を と 向けた気 と 画 府中・調本・三鷹ラグビーフェステラグビーのまち 府中推進委員会の設立(シンボルマークのビーマッチ市民招待、ラグビーのまち 府中デー等の実施)で ローカールドカップ 2019公認 地申請■多言語・サイン表示現 況調査の実施  ▼ 新規・レベルアップ	H28年度の方向性(Plan 平成27年度に策定した ョンプラン(仮称)」を策 大会開催に向けた基盤を整 H28年度評価(Check) オリンピック・パラリンと 中推進委員会を変担した ラリンピック等を推進して 、同大会に係る事業等を展	(2) (本) を関連事業推進会議及びラグビーのまち府ことにより、市内一丸となってオリンピック・元とには働めた。 (本) を設置し、 (本) を設置し、 (本) を設置し、 (本) を設置し、 (本) を設置し、 (本) を設置し、 (本) を設定した。 (本) を対して対して対して対した。 (本) を対した。 (本) を対し								
■本市の取組を示して、	的な取組 (Plan)  Rした「アクションプラン(仮称)」の策定■市民会議( オデジャネイロオリンピック・パラリンピック関連事業 デ会・パブリックビューイングなど)■調布市・三鷹市と つフェスティバルの開催■東芝ブレイブルーパス・サント と	H28年度の方向性 (Plan 平成27年度に策定したョンプラン (仮称)」を策大会開催に向けた基盤を整 H28年度評価 (Check) オリンピック・パラ買した・パラリンと中推進委員会を等を推進して、同大会に係る事業等を展して、同大会に係る事業等を展して、同大会に係る事業等を展して、	上基本方針に基づき、事業を具体化した「アクシラでするとともに、市民会議(仮称)を設置し、 を備する。  「評価内容 A 重点化・拡大して継続  「デック等関連事業推進会議及びラグビーのまち府ことにより、市内一入となってオリンピック・パストとはり、市民協働の元とにより、東運の職成を図っていく。  「記を集まり、東運の職成を図っていく。								
■本市のの出たン業	的な取組 (Plan)  Rした「アクションプラン(仮称)」の策定■市民会議(オデジャネイロオリンピック・パラリンピック関連事業 デ会・パブリックビューイングなど)■調布市・三鷹市と一フェスティバルの開催■東芝プレイブルーパス・サントなど的働したラグビーイベントの開催■大会に向けた気運  Do)  Rした「アクションプラン」の策定■市民会議の設置■リーンピック・パラリンピック・パラリンピック・パラリンピックをしまる で は と は 場 者 壮行 ゴールンピック を と 向けた気 と 画 府中・調本・三鷹ラグビーフェステラグビーのまち 府中推進委員会の設立(シンボルマークのビーマッチ市民招待、ラグビーのまち 府中デー等の実施)で ローカールドカップ 2019公認 地申請■多言語・サイン表示現 況調査の実施  ▼ 新規・レベルアップ	H28年度の方向性 (Plan 平成27年度に策定したョンプラン (仮称)」を策大会開催に向けた基盤を整大会開催に向けた基盤を整めた。	□ 基本方針に基づき、事業を具体化した「アクシラででするとともに、市民会議(仮称)を設置し、 ② アク等関連事業推進会議及びラグビーのまち府でした。 ことにより、市内一丸となってオリンピック・パンマーのでは、の元では、の元では、の元では、の元では、の元では、の元では、の元では、の								
■ 本市のの出たン業	<b>的な取組 (Plan)</b>	H28年度の方向性 (Plan 平成27年度に策定したョンプラン (仮称)」を第大会開催に向けた基盤を整大会開催に向けた基盤を整大会開催に向けた基盤を整大会開催に向けた基盤を整大会開催に向けた基盤を整大りという。 ロール	□ 基本方針に基づき、事業を具体化した「アクシラででするとともに、市民会議(仮称)を設置し、 ② アク等関連事業推進会議及びラグビーのまち府でした。 ことにより、市内一丸となってオリンピック・パンマーのでは、の元では、の元では、の元では、の元では、の元では、の元では、の元では、の								
■本市の取設場であり、 一板称大会しサッツ (連携・中域・大学・バル、の出たン業 (東京・リーボーンの所他・中域・大学・バル、のようでは、大学・バル、のようでは、大学・バル、のようでは、大学・バル、のようでは、大学・バル、のようでは、大学・バル、のようでは、大学・バル、のようでは、大学・バル、のようでは、大学・バル、のようでは、大学・バル、のようでは、大学・バル、のようでは、大学・バー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<b>的な取組(Plan)</b> 「はした「アクションプラン(仮称)」の策定■市民会議(スオデジャネイロオリンピック・パラリンピック関連事業 子会・パブリックビューイングなど)■調布市・三鷹市といると協働したラグビーイベントの開催■大会に向けた気運した。と協働したラグビーイベントの開催■大会に向けた気運した「アクションプラン」の策定■市民会議の設置■リースと協働したラグビーイベントの開催■大会に向けた気運がビースを関連事業(ラグビーフ・パラリンピック関連・主鷹・ラグビーフ・調布・設定・マッチ市民招待、ラグビーのまち府中ボカップ2019公認と申請■多言語・サイン表示現況調査の実施  「マッチ市民招待、事ラグビーのよりアールドカップ2019公認と申請■多言語・サイン表示現況調査の実施  「中国の進行管理■市民会議の実施及び専門部会の設置・運用のとしたラグビーフェスディッグの開催■その他、大会に向ける会等との連携■オリンピック・パラリンピック事前キャンラグビーフールドカップ2019公認チームキャンプ地に向きる等との連携■オリンピック・パラリンピック事前キャン言語・サイン表示整備計画の作成検討  「おける事業の位置付け	H28年度の方向性 (Plan 平成27年度に策定したまとませる)	(上基本方針に基づき、事業を具体化した「アクシラでするとともに、市民会議(仮称)を設置し、 を開する。  「評価内容 A 重点化・拡大して継続である。  「おいるないでは、一のまち所である。」とにより、市内・丸と引き続き、市民協働の元といる。  「おいるないでは、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切								
■ 本市のの出たン業	<b>的な取組 (Plan)</b>	H28年度の方向性 (Plan 平成27年度に策定したョンプラン (仮称)」を発生 大会開催に向けた基盤を整 大会開催に向けた基盤を整 サンピック・を要した。 パララリンとでは、 同大会に係る事業等を 原	(上基本方針に基づき、事業を具体化した「アクシラででするとともに、市民会議(仮称)を設置し、 を備する。  「評価内容 A 重点化・拡大して継続でする。  「記録を開連事業推進会議及びラグビーのまち府ではより、市内一丸となってオリンピック・パープリンピックを関連事業推進会議と関し、気運の醸成を図っていく。  「記8年度評価に基づく見直し(Action) 「ロリンピック・パラリンピック等関連事業推進会では、市民協働による大会気運のでいても、では、「市民協働による大会気運のできる。」 「対し、「対し、「対し、「対し、「対し、「対し、「対し、「対し、「対し、「対し、								

2 他事業との整理・統合

1休止2廃止3完了

D 休止・廃止等

指標名	基準値			事業推移			目標値・	指標の分析	
担保石	(単位)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標年度		
		計当初値画	-	ı	ı	ı	ı	数値の比較や推移で評価すること がなじまないため、特に指標の設	
	_	-	値補正値	_	_	-	-	-	定は行わない。
	_	実 績	1	ı	ı	ı	ı		
		当初値画	-	-	-	-	-		
	=	値補正値	-	1	ı	1	ı		
	_	実績	_	-	-	_	_	+ ()(+n/+) > +++) + /+)	

※ 当初値:指標設定当初の計画値、補正値:現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現 状 分 析	3	2	1			
	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	3		
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施するべき事業である。	本市が主体となり、民間企業と連携を図りながら実施すべき					
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2		
類以事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2		
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3		
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2		
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2		

#### 4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

7 7				(羊位:11、八)			
		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業	<b>美費</b> )						
	当初予算額	0	0	0	8, 851, 000	33, 204, 000	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	5, 000, 000	0
	一般財源	0	0	0	8, 851, 000	28, 204, 000	0
	予算現額	0	0	5, 368, 000	29, 651, 000	0	0
	決 算 額	0	0	4, 542, 765	28, 501, 112	0	0
	国庫支出金	0	0	4, 542, 765	20, 770, 000	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	1, 401, 929	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	4, 956, 248	0	0
	一般財源	0	0	0	1, 372, 935	0	0
	執 行 率	0.0%	0.0%	84.6%	96. 1%	0.0%	0.0%
	‡費)						
	職員数	0.00	0. 17	1. 08	1. 38		
	職員人件費	0	1, 329, 320	8, 390, 569	10, 789, 620		
	嘱託員数		0	0	0		
	嘱託員人件費	0	0	0	0		
(間接	接経費)						
	間接経費		8, 258	55, 018	123, 930		
	総コスト	0	1, 337, 578	12, 988, 352	39, 414, 662	0	0

### 5 これまでの取組及び今後の展開

# これまでの主な取組と成果

平成27年度は、2019年ラグビーワールドカップ・2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けた取組初年度として、本市の取組の方向性を示した「府中市東京オリンピック・パラリンピック競技大会等関連事業推進プロジェクト基本方針」を策定するとともに、各関連団体と協働するための関係を築き、基盤整備を行った。 平成28年度は、基本方針を軸に、オリンピック・パラリンピック等関連事業推進会議及びラグビーのまち府中推進委員会を設置し、市内一丸となってオリンピック・パラリンピック等を推進していく体制を構築した。

# 今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)

大会に向けた更なる気運醸成を図るため、オリンピック・パラリンピック等関連事業推進会議及びラグビーのまち府中推進委員会を中心に、これ まで以上に市民協働による事業を実施していく必要がある。

6 構成事業一覧

(単位:円)

	小手に		元		事 業	又位市业力	H28:	年度	H29年度
	会計	款	項	目	事 業コード	予算事業名	当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	10	05	30	0148800	東京オリンピック・パラリンピック競技大会等関連事 業費	8, 851, 000	7, 731, 112	14, 698, 000
2	01	10	05	30	0148900	ラグビーのまち府中推進事業費			18, 492, 000
3	01	10	05	30	1065040	東京オリンピック・パラリンピック競技大会等関連事 業推進会議運営費			14, 000
4	01	10	05	60	2121101	ラグビーのまち府中推進事業費	0	17, 800, 000	
5	01	10	05	60	2121501	多言語対応表示検討事業費	0	2, 970, 000	
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30						<b>△ ⇒</b>	0 051 000	20 501 110	22 204 000
						슴 計	8, 851, 000	28, 501, 112	33, 204, 000

 記載年月
 平成29年9月

 対象年度
 平成28年度

1 事務事業の	概要	1 事務事業の概要										
事務事業名	議会関係事務				事務事一	業 ド	60861000					
概要	議会関係資料の作成及び提出等に関する事務											
<b>从</b> 人基本施策	1 施策体系外		主管部課名	政策総務部	部 総務管理課							
総合施策	86 施策体系外		事業類型	法定事業	<ul><li>任意事業混在</li></ul>	Ē						
事業種別	その他の事務事業 事業開始年度 ~		見直しの裁量	市に事業の	の一部を見直す	裁量	あり					
根拠法令等	地方自治法ほか											
市関連事業												
対 象	市職員、市議会議員等											
実施の背景	地方自治法において、市長が担当する事務としていること。	、議会の議決	が必要である事案に	ついて、その	)議案を提出す	ること	とが定められて					
事業目標	事業目標 議会事務局と連携を図り、円滑な市議会の運営に寄与することにより、適正な市政運営を図ること。											
事業内容 市議会に提出する議案及び報告案件並びに委員会及び委員協議会に報告する資料などの議会関係資料の作成及び提出等に関する事務を実施する。												
2 事業計画・	評価											
H27年度実績(	00)	H27年	度評価 (Check)	評価は	<b>内容</b> B 現状の	まま	継続					
▽市議会への報告 ▽委員会への報告	□ では、											
$\triangle$	- □ 新規・レベルアップ ☑ 継続 □	   見直し	□ 廃止 □	127年度評価	面に基づく見	直し 	(Action)					
H28年度の具体	的な取組(Plan)	H28年	度の方向性(Plar	1)								
を実施する。	議案及び報告案件の資料の作成及び提出等に関する 議会に報告する資料の作成及び提出等に関する事務	の適り	:市政運営を図るた& ]な実施に努める。	)、議会関係	資料の作成及で	び提出	等に関する事務					
 H28年度実績(	Jo)	H28年	度評価 (Check)	評価は	<b>内容</b> B 現状の	まま	継続					
▽市議会への提出 ▽市議会への報告 ▽委員会への報告	議案の件数(暦年):97件 案件の件数(暦年):7件 案件の件数(暦年):23件(特別委員会分を含む 報告案件の件数(暦年):80件	当初記	<b>漫評価(Gleck)</b> 計画どおり事業を実施		The Total Control		parica					
$\overline{\Box}$	<ul><li></li></ul>	見直し	□ 廃止	128年度評価	西に基づく見	直し 	(Action)					
市議会に提出するを実施する。	委員会及び委員協議会に報告する資料の作成及び提出等に関する事務を実											
平成30年度にお	Sける事業の位置付け											
A 重点化・拡ナ B 現状のまま絹	にして継続	В			めに、議会関(続き適切に行		∤の作成及び提出 ヹがある。					
C 見直して継続 D 休止・廃止等	2 他事業との整理・統合	1										

3 完了

指標名	基準値			事業推移			目標值·	指標の分析	
拍标石	(単位)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標年度		
		計当初値画	1	1	1	1	1	数値の比較や推移で評価すること がなじまないため、特に指標の設	
	-	値補正値	_	_	-	-	-	定は行わない。	
	_	実 績	١	ı	ı	ı	ı		
		計 当初値画	-	-	-	-	-		
	=	値補正値	ı	1	ı	1	1		
	_	実績	_	_	- + +	_	_	tr (\(\frac{1}{2}\) \(\frac{1}{2}\) \(\frac{1}2\) \(\frac{1}{2}\) \(\frac{1}2\) \(\frac{1}2\)	

※ 当初値:指標設定当初の計画値、補正値:現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現 状 分 析	3	2	1			
	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	3		
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施するべき事業である。	市議会の運営等に関連する議会関係資料の作成及び提出等に関する事務事業であり、市が実施しなければならない。					
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3		
類以事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3		
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	2		
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3		
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3		

### 4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)
1100 <del>/-  </del>

	F 不良 八川 貞守の	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業	<b>業費</b> )						
	当 初 予 算 額	0	0	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0
	予算現額	0	0	0	0	0	0
	決 算額	0	0	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0
	執 行 率						
	牛費)						
_	職員数	3. 88	3. 77	4. 15	2. 50		
_	職員人件費	31, 010, 388	28, 703, 856	32, 333, 658	19, 481, 258		
	嘱 託 員 数	0	0	0	0		
	嘱託員人件費	0	0	0	0		
	妾経費)						
	間接経費	86, 099	54, 090	65, 684	100, 444		
	総コスト	31, 096, 487	28, 757, 946	32, 399, 342	19, 581, 702	0	0

### 5 これまでの取組及び今後の展開

# これまでの主な取組と成果

市議会に提出する議案及び報告案件並びに委員会及び委員協議会に報告する資料などの議会関係資料の作成及び提出等に関する事務を適切に実施している。

# 今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)

議会関係資料の作成について、より効率的な方法及び省資源化の検討を進める必要がある。

	1冊/火=				東 業				(本位:11)
	会計	款	項	目	事 業 コード	予算事業名	当初予算額	決算額	当初予算額
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						合 計			